

オーロラ

春

カナダのライフスタイル誌・1999年 第26号



幻の一眼レフカメラ
“デュフレックス”
をたずねて・森山真
弓/オーロラがはひけ
る! 横道文司/古代イ
ンドの長寿学アユル
ベダ治癒の話・後藤
順子/あなたも参加
できるエベレスト・
トレッキング・杉山
園子/云わせてよ! 高
校生活の周辺から
3ドル50セント

21世紀の牽引力

記念すべき100機目のジャンボを受領

「ジャンボ」の愛称で親しまれているB747。この、世界で一番大きい旅客機を通算100機受領したのは、世界でJALが始めてです。

世界最大のジャンボユーザー

JALのジャンボ一番機が初めて太平洋を飛んだのは、1970年のこと。以来28年間にわたり、世界で最も多くB747を購入し続け昨年ついに100機目を数えるにいたりました。より多くのお客様に広々とした機内でゆったりとおくつろぎいただけるようにとB747を主力機として導入、世界最大のジャンボユーザーとして二位の英国航空を大きく引き離しています。

各航空会社のB747受領機数

(1998年11月19日現在/ボーイング社調べ)	
日本航空	100機
英国航空	87機
シンガポール航空	78機

「オンタイム・世界一」を獲得

JALのB747の定時出発率は99.6%、ボーイング社の調査で連続28年間トップの座を守っています。世界で最も多くのジャンボを運航するJALの、すべてのフライトが時間に正確であることがデータで証明された訳です。

その「信頼の翼」を支えているのが徹底したメンテナンスです。最新のテクノロジを駆使した独自の設備、高度な訓練を受けた精鋭のスタッフによる厳しいチェック。また、機体洗浄システムや機体重量と重心を計算するJAWSシステムなど、JALで生まれたメンテナンス技術は他のエアラインでも採用され、空の安全性向上に役立っています。

B747を主力機として21世紀へ、より快適な空の旅を目指して、JALは始動しました。



100機目から始まる、新たなストーリー。



BRIDGESTONE Firestone™

HOT TICKET EVENT

UP TO **\$100⁰⁰**

MAIL-IN REBATE*

Right now when you buy select Bridgestone Potenza or Firestone Firehawk tires, you can receive up to \$100 cash back on a set of (4) tires.

Bridgestone Potenza	Firestone Firehawk
S02 25" per tire	S250 25" per tire
RE940 10" per tire	SVX 10" per tire
RE71 7" per tire	GTA 7" per tire
RE930 7" per tire	SH30 7" per tire
RE92 7" per tire	FTX02 5" per tire
RE900 5" per tire	FTX 5" per tire
	SS10 5" per tire



Plus you could
WIN A HOT TICKET TO RIO

Enter to win the hottest ticket on the circuit! An exclusive, all inclusive 5 day/4 night trip for two in hot, romantic Rio de Janeiro, Brazil! Prize includes airfare, hotel, spending money and tickets to the CART race. When you MAIL-IN for your rebate, you are automatically entered to win. Ask your participating retailer for details. No purchase necessary.



FOR NEAREST RETAILER CALL 1 800 959-7911.

C O N T E N T S

オーロラ 春

カナダのライフスタイル誌

1999年春 第26号

「幻の一眼レフカメラ”デュフレックス”をたずねて」	森山真弓	8
「オーロラがはじける！」		
イエローナイフで見た今冬最大級のオーロラ	横道文司	10
「カナダで引退」やりたいことがいっぱい！	奥村勝・仙夫妻	13
「北イタリア点描」オフ・シーズンの旅から		20
「アユルベダ治癒の話・古代インドの長寿学」	後藤順子	22
「あなたでも参加できる”エベレスト・トレッキング”」	杉山園子	23
ひとこと「云わせてよ！」	高校生活の周辺から	34
春のイベントカレンダー		
「某月某日」日本の失業と北米経済	半田宏治	5
見たり聴いたり試したり		6
「カナダ往還」十年前のある事実	足立誠之	14
「東京裏通信」世界生き生き”物々”情報	尼子三矢子	16
ワーホリ・トロント生活記	柳元満佐子	17
ダンス・ダンス・ダンス「ダンサーとカンパニー」	村越直子	18
日塔富夫ののが虫にっこり「幻の古い新人」		19
「星学エッセイ」北斗の星に還ったマザー・テレサ	月華麗	25
「東京ビッグバン」日本国のレート格下げ	大江一明	30
インサイド/アウトサイド”J-Debit”	高中公男	31
「夏雲冬椰子・フィリピン・アパート探しの記」	香西宏昭	32
新教室「初釜にて」		33
遂に発売!「ルーシー・モンゴメリ・アルバム」	梶原由佳	37
「子供が大人に近い国、カナダ」	草間吉夫	38
OCS 新刊紹介「モリー先生との火曜日」		39
編集室から		40

表紙 西野入淳子 デザイン 山本博・野尻佳子・日塔富夫

1部 3ドル5セント



トロント

★「着物：日本の多彩な伝統」
～五月二四日まで

The Museum for Textiles
カナダで唯一の織物博物館に着
物約五十点が展示中。婚礼衣装、
お振り袖、赤ちゃんのお宮参りの
着物を含むコレクションです。日
本の伝統の衣服を改めて鑑賞し
てみてはいかがでしょう。
Tel (416) 599-5515



★「マスター・クラス」

三月二三日～五月一日
Royal Alexandra Theatre
脚本家テレンス・マクナリーのトニ
ー賞作品。ニューヨークのスラム街
に生まれたマリア・カラスは醜いア
ヒルの子のような子供時代を過
すが、いつしか魅惑的な女性オペ
ラ歌手に成長。伝説的ソプラノ、
カラスの愛と激動の半生を描く。
主役を演じるのはエリザベス・ア
シレイ。観客の心を魅了する舞台
です。マスター・クラスとは引退し
た著名な音楽家が後進を指導す
る特別クラスのことです。
(問) (416) 872-1212・1-800-461-3333

★「1999クライスラー・スター
オン・ジ・アイス@・C・C」

四月一七日と一八日
エア・カナダ・センター
ファイギャー・スケートやアイスダン
スの振り付けで有名なサンドラ・
ベジックが今回は演出、制作も手
がける。オープンして間もないエ
ア・カナダ・センターでオリンピック
ク・メダリストや世界チャンピオ
ンのスターが続々登場、氷上で華
麗な姿を見せてくれる。カート・
ブラウニングはじめ、オーサー・
ブラスール&アイズラー、ポーン
&クラッツが出演。
(予約・問) チケットマスターへ
(416) 870-8000

★「ヴァチカンの天使たち」

四月二四日～六月二七日
アートギャラリー・オブ・オンタ
リオ
その名の通りヴァチカン市国から
来た天使が描かれた約百点の大

規模な展覧会です。ラファエロ、

タリ、アンジェリコの作品は油
絵から聖堂の美術品までいろいろ
この度初めてヴァチカンの外
に出る貴重なコレクションです。せ
つかくの機会をお見逃しなく！
(問) (416) 979-6648

★「サラ・フレイザー・ヴァイオリン
・リサイタル」

五月十一日午後八時
トロント大学音楽部ウォルター
・ホール
桐朋、カナダ王立音楽院出身で
日本クラシック音楽コンクール二
位初め、日本のコンクール入賞歴
を持つ若手バイオリニスト。
(問) (416) 534-0319

★「グッド・フード・フェスティバルと
マーケット」

四月三十日～五月二日
Automotive Bldg. Exhibition Place
今年で七十五回を迎える食べ物
のフェスティバルと市。試食コーナ
ー、料理に実演、エスニックやグル
メ料理。台所用品など何でもあ
りのショーです。(416) 766-2089

★「草月流生け花会員展」

五月一日と二日
Kedana Work Place
メンバーの生け花を鑑賞し、季節
感を味わいましょう。
(問) (416) 504-9877

★「バレエ「白鳥の湖」

五月五日～一四日
ハミングバード・センター
ジェームス・クデルカの新振り付
けにより、独創的で想像豊かな
「白鳥の湖」が期待されている。ナ
ショナル・バレエ団の才能が充分に
発揮される舞台は楽しみです。
(問) (416) 979-6648



NISSIN TRANSPORT (CANADA) INC.

航空海上輸出入貨物輸送／倉庫保管／トラック運送／
海外・国内引越し／事務所移転…その他何でもご相談下さい。

「運送のデパート日新」国際ネットワーク

日本国内、米国、イギリス、ドイツ、オーストリア、スペイン、イタリア、
香港、シンガポール、タイ、中国、ロシアの各営業拠点を結び
"NISSIN" による安くて、早くて、確実なサービスを提供致します。

TORONTO/ 42 Voyager Ct. N. Etobicoke, ONT. M9W 4Y3
Tel: (416) 674-0503 Fax: (416) 674-0881
VANCOUVER/ #150 2501 Viceroy Place Richmond, B. C. V6V 1Y9
Tel: (604) 276-9691 Fax: (604) 276-0881

★「ペーターベン・フェスティバル」

四月三十日～五月二日
ロイ・トムソン・ホール又はマッシー・ホール
トロント・シンフォニーによる恒例の音楽祭。ペーターベンの五つのピアノ協奏曲が演奏されます。
(問) (416) 593-1828
(田阪舞)

モントリオール

★ストリート・イベント

長い冬から解放されて、春・夏は街路にどっと人が溢れ、ストリート・イベントが盛んに行われる。
▽「ヘルス・フェスティバル」
五月十六日

子供からお年寄りまで、家族全員の健康を守る健康フェスティバル。昨年は二万二千人が参加。
(問) (514) 879-1020



▽「バイク・フェスティバル」

五月二十日～六月六日
プロ級から子供まで参加できる二輪祭。五月三十日は六歳から十二歳までの一万人の子供が交通を完全に遮断した二四キロのコースをサイクリングする第八回ザ・ツアー・デ・ザンファン。六月四日はバイク・ナイト・ライダー、六月六日はイシクル(一輪車)大会。
(問) (514) 521-8356

▽「カリビアンアフリカン・ショー」

四月十九日～五月二日
市内数カ所で行われるカリビアン映画、ダンス、音楽、アート、出版物の展示ショー。
(問) (514) 872-2237 E300

★バイオドーム

▽「アース・デー」

四月十二日～二六日
四月二二日のアース・デーに合わせて、廃棄物から作った三百点以上のオモチャを展示。
▽「スカイハンター」
五月六日～九月九日
ケベックに棲む鷹、鷲など空から獲物を狙う猛禽類を紹介。
(問) (514) 868-3000

★植物園

▽「中国の伝説のお面」

五月七日～八月二九日
中国に伝わる伝説、シンボルを表すお面の数々。
▽「桜の木の下でお花見」
四月二五日
日本庭園例年の催し。お弁当も売っています。
(問) (514) 872-1400

★「セントヘレナのパレオン」

五月五日～十月十一日
スチュワート博物館
南大西洋の孤島、セントヘレナに流刑され、六年間幽閉されて死んだパレオン・ポナバルテの出生から死までの記録を遺品と共に展示。
(問) (514) 861-6701

★「モントリオール・エア・ショー」

五月一六日
ミラベル国際空港
民間機、空軍機による空のスペクタクル、一日家族連れでどうぞ。
(問) (514) 790-1245



★パフォーマンス

▽オペラ「ジョコンダ」

五月二九日～六月二二日
ウィルフレッド・ベレティエ劇場
「時の踊り」で有名なボンキエリの「ジョコンダ」はビクトル・ユーゴーの劇作に基づいたベニスを舞台にした楽しいオペラです。
(問) (514) 985-2258

▽「二台と四手のピアノ」

五月二五日～六月三十日
テアトル・デュリドー・ヴェール
テッド・ダイクストラとリチャード・グリーンブラットの二人のピアノ・ストが幼少時から演奏家になるまでのピアノのレッスンのエピソードをおもしろおかしく演じる。
ブロードウェイやカナダ各都市で評判をとったコンサート。
(問) (514) 845-0267

★ミュージアム・デー

五月三十日
この日一日、モントリオールの二十五の美術館、博物館が全館フリーになる。無料循環バスを利用してアートの一日を楽しみましょう。
(問) (514) 845-6873 (M.H.)



日新トラベル

NISSIN TRAVEL, a division of
NISSIN TRANSPORT (CANADA) INC.



出張、家族旅行、その他何でも

旅のことなら日新へご相談下さい。

TORONTO 42 Voyager Ct. N. Etobicoke, ONT. M9W 4Y3
Tel:(416)674-7057 Fax:(416)674-0881

バンクーバー

★「ロートレック展」

六月二十日まで

バンクーバー・アートギャラリー
キヤパレー、競馬場など十九世紀
末バリのブルジョワ達の退廃した
生活と風俗を皮肉と風刺で鋭く
描いたトゥールーズ・ロートレック
の油絵、デッサン、版画百八点、
今シーズン見逃したくない展
示の一つです。日本の浮世絵版
画展も同時に開催中なので、ゴッ
ホ、ロートレックらに影響を与え
た浮世絵版画も見られます。

(問) (604) 662-4719



★コンサート

▽「パツハ、ブランデンブルグ協奏
曲」(六番)

バンクーバー・シンフォニー

四月一六、一七日

チャン・ジョン・コンサートホール

(問) (604) 876-3434

▽「アンドレア・ボチェッリ・コンサ
ート」

四月一九日、GMプレイス

首目のテナー、ボチェッリのバンク
ーバー・シンフォニーとの共演。

(問) (604) 280-4444

▽子供のためのコンサート

「ピーターと狼」他

四月二五日、オルフェウム劇場

子供の好きなお話、プロコフィエフ

の組曲、「ピーターと狼」をバンク
ーバーのシエークスピア劇団員が
語り、バンクーバー・シンフォニー
が共演する。

・「真夏の夜の夢」

五月九日、オルフェウム劇場

ゴウ・バレエの若いダンサー達とバ
ンクーバー・シンフォニーによるメ
ンデルズゾーン「真夏の夜の夢」

▽「マーヴリン・ハムリッツシュとプロ
ードウエー・サウンド」

四月二三日、二四日、オルフェウム
劇場

バンクーバー・シンフォニーが作曲
家でショール・ピアニスト、コメディ
アンのマーヴリン・ハムリッツシュと共
演するブロードウエイ・ヒット曲
集。

▽「サウンド・オブ・ニューヨークリン
ズ」

五月二八、二九日、オルフェウム
劇場

今シーズン最後のバンクーバー・
シンフォニーはティジック指揮、ト
ランベットをフィーチャーしてのニ
ューオーリンズ・ジャズで幕を閉じ
る。

以上(問) (604) 876-3434

★イベント

▽「第十六回世界オーキッド会議」

四月二七日～五月二日

バンクーバー・トレード・コンベン
ション・センター

究極の花作りはバラにあらず、オ
ーキッドだというバラ専門家に
怒られるかも知れませんが、花の
王者「蘭」作りの世界のプロ、アマ
が一堂に会するオーキッド大会で
す。カナダでは最大規模の作品展

(5ページから続く)

たつているけれど、それだけではな
い。新しい産業が興らない限り、
失業者を吸収しきれない重大な
局面にきている。日本の旧来の制
度全般を見直すという事は、こ
の文脈で見ないと何もみえて来な
いだろう。

くだんの石川県の部品メーカ
ーは結局北米への進出を果たし
た。以来十五年、初期の苦労を
克服して工場も増設され、このほ
ど進出前は考えもしなかったピッ
グスリーとの取引も始まったとい
う。

友人が駐在した自動車工場
は、その品質も評判が高く、最近
はアメリカならではのミニバンや
商業車の生産が加わり、年産六
十万台、雇用も一万人を優に越
え、北米でも指折りの優良企業に
なっているという。

こうした一連の日本の対北米
投資は利害得失が複雑にからみ
あつて、単純なプラス・マイナスの
評価は難しい。しかもビジネスで
ある以上、いつも順風が吹くとは
限らないだろう。一部脱落もある
かも知れない。日本特有の経営観
念と北米の労働慣行とのあつれき
も心配の種ではある。けれどもす
でにサイは投げられたのだ。日本
人の勤勉さ、組織力、北米の広い
国土資源、多様性、極度に発達
した市場経済といったハイブリッ
ドの要素がうまく組み合わされ
ば、日本では想像も出来ない新し
い可能性に出会うこともあるだろ
う。この際、ポジティブな成果に
賭けるべきであろう。

年明け早々に日本とアメリカの失業率が発表された。不況に悩む日本は失業者が増え続け四パーセント台に達し、ついにアメリカの失業率を上回ってしまったらしい。ここでも日本の逆転があることを知った。今日は少し固い経済の話題を中心に我々の生活を見直してみたい。

ここで筆者が思い出すのは、八十年代前半北米で日本車が急増し、貿易摩擦問題が深刻になった頃である。アメリカではレイオフの嵐が吹き荒れていた。

日本車メーカーは各社競ってアメリカやカナダでの生産拠点建設を決定し、筆者はこの自動車部品生産のための合併事業を促進する仕事に関与していた。相手となる日本の部品メーカーを探し、東京から遠く離れた地方都市まで足を伸ばしたことがある。多くは中小企業で、親会社の北米進出に大変な危機感を持っていた。

仮りに部品メーカーとして進出を断念すれば、北米生産に踏み切った以上、親会社はその分国内生産をカットする可能性がある。下請にとり減産は死活問題である。他方、思い切って進出するとなると、異文化による経営の難しさ、人材不足、投資リスクの大きさ等がからんで、その決断に苦渋する地方経営者に同情を禁じ得ない思いがしたものだ。

「ウチがアメリカに工場を作ったら、長らく苦勞を共にして来た

この従業員の働き口はどうなるんですかネエ。」と額にシワを寄せたメエをつく石川県の社長さんの表情が今でも忘れられない。生産の現地化というのは、いみじくもこの社長が指摘したように国内の雇用を海外に「輸出」することになりかねないからだ。

合併の仕事が一段落した頃、かつて在籍していた自動車メーカーの友人が中西部のアメリカ工場に生産技術担当として日本か

某月某日

「日本の失業と北米経済」

半田宏治

ら派遣されて来た。駐在は四年程だったが、彼の激務ぶりは口ではうまく云い尽くせない思いがする。彼の職務はこの大工場に備え付けた各種の最新加工機械の保全、改良、そしてその取り扱いに関する現地従業員への指導及び補佐ということになるが、周りのトウモロコシ畑でしか働いたことのない若者に彼の限られた英語力で一からすべてを教え込むのは至難の業であつたらう。しかも待った

なしの需要増で、工場はついに二直制を実施して増産に応じたのである。

その間、彼をチーフとする数人の日本から来た技術者達は、一直が始まる午後十時まで生産ラインに張りつき、時として深夜まで打ち合わせが続くこともしばしばであった。疲れて居眠り運転をして危ない思いもしたらしいし、異国での慣れぬ生活やコミュニケーション・ギャップでストレスがたまつたのか、タバコの喫煙量は一日二箱以上、晩酌に飲むウィスキーの量もめつきり増え、元々頑丈さを売物にする好漢ではあつたが、私も一時心配する程の働きづくめの毎日であつた。幸いにして彼の尽力でアメリカ人スタッフが育ち、その関係の日本人補助スタッフは以来本社から送られていないと云う。

自動車、家電、ハイテック等を代表とする日系メーカーのアメリカ一国における直接の雇用創出は四十万人と云われており、メキシコやカナダを加えたらその数は五十万人を下回らないだろう。更にこうした企業と取り引きする北米の地場産業（生産・販売・金融・サービス業）を加えたら、日系企業が直接間接に影響を及ぼす雇用人口は三倍にも達しよう。そしてその扶養家族を加えること、日系企業でビッグスリーの町、デトロイトの人口をはるかに上回る人々の生計を支えていると

云うことになる。

これは考えてみると大変なことなのだ。第一に云えることは、貿易摩擦解消のためにこれ程早く、真正面からコミットした国は日本以外に見当たらないということである。摩擦問題は何も日本の専売特許ではなく、アメリカは中国やヨーロッパ、そして隣国のカナダとの間で、日常茶飯事の如く係争の種に事欠かない事実には留意すべきかも知れない。ドイツのフォルクスワーゲンや韓国の自動車メーカーも北米工場を作ったけれど、数年で放り出してしまった。

二番目として指摘できるのは、これだけの企業進出で、日本人の明治以来の北米交流史において大きな転換をもたらしかねないということである。初期の日本人移民はハワイと西海岸中心の農業従事者がほとんどであつた。それが戦争の流れで排日運動に至って敗戦となる。そして戦後はメイド・イン・ジャパンの北米輸出市場開拓のための売り込みでスタートした。それが摩擦問題に進展して北米の生産拠点作りにつながつて行く。現在の日系企業をトータルで見れば、すでに北米経済に想像以上の大きなインパクトをもたらしていることは云うを待たない。その北米経済への貢献度はもつと評価されてよい。

そして最後になつてしまつたが、これだけの生産移転で日本は逆に生産空洞化が確実に始まっていることを付け加えたい。日本の不況はとかく金融問題に焦点が当

(前ページ下段に続く)

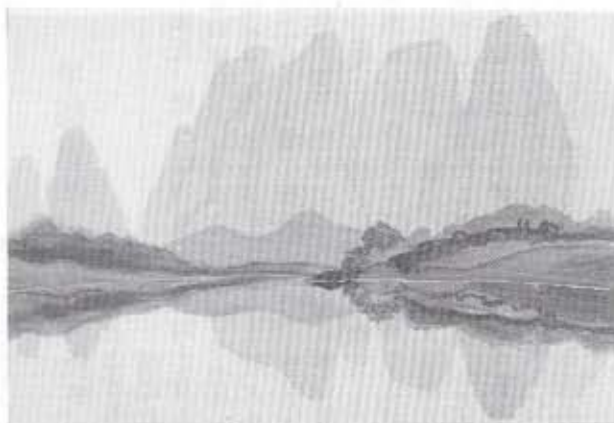


コンサートが終わってから、当夜のプログラムと同じCDを売店で買った。興奮する音楽、疲れる音楽、いろいろあるがやはりリラックスする音楽が一番楽しいと同行した友人と話し合いながら。

富士通カナダ主催のトニー・ベネットのコンサート(ロイ・トムソン・ホール)の招待券をいただいたので行く、と若い友人に話したら、「思いつきクラシックで、スタンダードですね」と云われた。彼の「I left my heart in San Francisco」は誰の耳の底にも残っていると思う。グラミー賞を何回も受賞した実力派で、ジャズの歌えるポピュラー歌手で、現存するトップ・シンガー。

ピアノのラル・シャロンのクアルテットのジャズ・コンボをバックに、Fly me to the moon, Love Piano, A Foggy dayなど懐かしい曲が次々と出てくる。どの曲もジャズのリズムに完全に乗って、聞く者を心地よくリラックスさせる。曲の合間に気の利いたエピソードをユーモアたっぷりに話さんたり、メンバーを紹介したり、洒落たセンスの大人のコンサート。フランク・シナトラが推奨して止まらなかった理由がよくわかる。

トニー・ベネット・コンサート



ドリス・マッカーシーの個展から

数年前、ストラットフォードのギャラリーでドリス・マッカーシーの絵を初めて見た。アーケティックの氷山や溪流を描く感度の鋭さ、その清冽さ、透明さに打たれた。氷のきしむ音や水音が画面から今にも聞こえてくるような気がした。ローレンス・ハリスの張りぼてふう氷山に比べて軽やかで、動きと冷たさがあるのである。

最近新聞で八十九才のマッカーシーがスカボローの断崖の近くにあるアトリエと広い敷地を後進のために寄付する話を読んだ。そして、スバダイナの画廊で個展開催中とあったので、早速行ってみた。北極海の氷山、アルバータのフットヒル、中国の揚子江下りと沿岸風景、アリゾナ、ニューメキシコなど油絵、水彩、スケッチが展示され、手の届く氷の小品があったら、と思ったが、もうそのほとんどに売約済みのマークが付いていた。写真の絵は「中国、桂林」



ご旅行の御相談は
お気軽に JTB へ!!

JTB INTERNATIONAL (CANADA) LTD.

Royal Trust Tower, Suite 3105, 77 King Street West
Toronto, Ontario M5K 1E7 Fax: (416)367-4859

Tel: (416)367-5824 (JTBI)



航空券、ホテル、レンタカー、ツアー、クルーズ

TOEFL 必勝 六百点を狙って

多くのカナダへの移住者が最初に直面する難関は仕事を探す事。しかし、そこでは、カナダで職務経験があるかと問われ、移住してすぐに、経験などあるはずがない。それでは、大学に入って勉強し直そうと思えば、英語の試験で、高得点を取れと言われる。しかし、英語がすぐに上達するわけもなく、何も出来ないと思われ、悲観的に成る人も多いのではと思う。しかし、あきらめずのは、まだ早い。多くの大学や資格試験で提示が必要となる英語の試験TOEFLで九十八パーセント以上の成績を取るために、どうしたのか、実際に試してみるので、私の経験を紹介します。



TOEFLは昨年六月より試験方法が、筆記からコンピュータによるオンラインの試験に変わった。変更前は、聴覚と文法と英文解釈が必修だったが、改訂後、英作文も必修に追加された。昨年五月、市販の問題集を二冊終えて、試験を受けたが結果は五百七点と芳しくなかった。独学では、不十分であると判断し、学校を探さず。夜に、このコースがある学校が見つからず、個人教授なら出来るという所をやっと探した。そこは、トロントのエグリントン西にあるラーニング・センターで、学習に障害のある小学生から高校生が通う日本の学習塾のような学校である。シユナー校長先生との面接で、この学校は勉強を教えるのではなく、勉強の方法をコーチする学校ですと説明を受ける。実際に授業を見せて

もらい、子供達の個性に合わせた、ユニークで人類愛に満ちたクラスを見て、ここなら出来るかもしれないと直感した。毎週一時間、通うことに決めた。

初日、担当の先生と勉強方法について検討する。私の苦手な文法と英文解釈で点数を上げるために、決めたことは類語辞典を入手すること、毎日グロープ・アンド・メイル紙の論評を最低一つ読むこと、雑誌エコノミストの記事を最低一つ読むこと。又、学校指定のTOEFL問題集とテープを買うように勧められる。

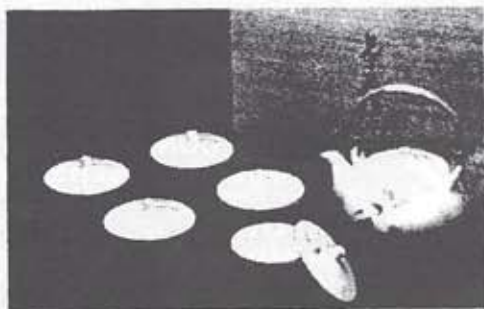
まず、TOEFLの問題集を自分でやって、何か質問があれば、クラスで先生に説明してもらう。聞きた新聞や雑誌の要約文を必ず一つは書いて、先生の意見を聞くことから始めた。しかし、日本の英語の授業のように単語や文法を覚えることではなく、自然に間違いが自分で気が付くように、毎回少しづつ繰り返す事に重点が置かれた。

難題の英作文は、与えられた題で自分の意見を三十分以内にまとめなければならぬ。TOEFLは最高六から最低一までのレベルで評価される。例文で見るとレベル六では、大学生の書いた論文のようで、英語が第二外国語の人が書いたとはとても思えない程である。とりあえず、トロント大学で入学基準にしている、レベル五以上を目指す。それと同時にグロープ・アンド・メイル紙の読者の投稿欄に採用されることを目指す事を追加した。

これを始めて三ヶ月後には、五百六十点になり、八ヶ月後には、遂に六百点にかなり近くなった。以前は、奇跡としか思えなかった高得点が自然と取れるようになり、自分でも驚いた。

この過程で気が付いた事は、英語の上達のために必要なのは、どれだけ単語や文法が覚えられるかとか、頭が良いかどうかではなく、スポーツ的感觉で、与えられた瞬間の刺激に体が自然に反応するまで、根気よく練習することではないかと思った。(後藤順子)

和食器も豊富に取り揃えました。お気軽にショールームへお出かけください...



Noritake
CANADA LIMITED

90 NUGGET AVENUE, AGINCOURT, ONTARIO, CANADA M1S 3A7
TEL: (416) 291-2946 FAX: (416) 292-0239

幻の一眼レフカメラ

「デュフレックス」を

ハンガリーにたずねて

森山真弓

◇ブタベストのガンマ製作所で生まれたデュフレックス

昨年九月の半ば、国際写真工業会議に参加のためヨーロッパに行った折に、ハンガリーを訪ねました。

初めてみたブタベストは歴史の香りがする美しい町です。ドナウ河にかかる鎖橋とその向うの丘の上のお城がライトアップされた夜の眺めは、ユネスコの世界遺産にも指定されている景観で、おとぎ話の舞台のようです。



ハンガリー国会議事堂を背景に、筆者

しかし現実の社会は夢のようというわけにはいかず、何といっても五十年間ソ連の下で共産主義体制を敷かざるをえなかった事態の後遺症は深い傷跡を残しています。

幻の一眼レフカメラ、デュフレックスの物語もその一例です。

一九四三年頃、第二次大戦の末期、ハンガリーのガンマ製作所という所で、目の高さで被写体を正確にとらえることの出来る一眼レフのアイデアが生まれました。同所のデューロビッツ氏の設計により一九四六〜七年にデュフレックスと名づけられ、製品として売り出されました。しかしハンガリーはこの頃ソ連の支配下となっており、ガンマ製作所はカメラから武器等の製造に転換させられ、デュフレックスは約二百台で製造を中止しました。そしてこの事実が鉄のカーテンに隠されて外には長く知られなかったのです。

これとは別に、西側では、アサヒペンタックスをはじめ一眼レフの開発製造が進み、新しいカメラの世界を開くものとして注目されていきましたが、実はハンガリーのデュフレックスが一歩先に世に出



幻のデュフレックス・カメラ

ていたことが一九七〇年になって初めてわかったのです。

私が館長をしている日本カメラ博物館には、幸いこの歴史の証人デュフレックスが一台ありますが、生まれた国ハンガリーではその後どのように扱われてきたのか興味がありました。日本大使館で、急遽調べて下さった結果、科学技術博物館に一台あるとわかり、行って見ました。そこは博物館とは名ばかりで、収蔵品が雑然と並んでいる倉庫のようなところでした。

館長のヴァモス女史は喜んで貴重な一台を見せてくれましたが、それはシャッターもフィルムの巻き上げも全く動かさず甚だ悪い状態でした。実は五台あったのですが、五年前地方の展示に貸した四台が盗まれてしまい、この一台は具合が悪いので出さなかったから残っているのだそうです。

Masa

DINING LOUNGE
創業 1970年

寿司・割烹・鍋料理

日本料理
まさ

●ダウンタウンのホテルより徒歩5分●

205 Richmond St. W.

Tel: (416) 977- 9519



東京ツアー(株)
TOKYO TOURS LTD.



まごころと感謝を胸に

TORONTO HEAD OFFICE

Tel:(416) 504-5111 Fax:(416)504-5115
436 Adelaide Street West, Toronto, Ontario M5V 1S7

FUJI VIP CONNECTIONS

Tel:(905) 672-8855 Fax:(905)672-8860
Sheraton Gateway Hotel / Toronto International Airport

MONTREAL

Tel:(514) 842-1757 Fax:(514)842-0916
625 Ave Du President Kennedy, Suite 1203, Montreal, Quebec H3A 1K2

旅

のご相談にお応えします。

「ここには展示場もありません。作ってほしいと前から言い続けているのですが、前の政府も今の政府も全然きいてくれないのです。」と館長は深いため息をついていました。

ハンガリー人のすぐれた独創性と研究心、高い技術の水準を示すデュフレックス・カメラは、今は故国でも知られること少なく、ほとんどガラスケースの隅に置かれ、館長と一緒にため息をついているように見えました。

◇写真が趣味だった大公妃イザベラ

十九世紀末から二十世紀初めにかけてハンガリーで羽振りをきかしていたハブスブルク家のフレデリック大公一家がありました。フレデリック夫妻イザベラは、美貌と才能をうたわれ、社会問題にも関心を持ち、なかなかの野心家でもありました。夫よりも賢明で、積極的で、いわゆるかかあ天下であったようです。

この女傑イザベラの趣味が写真撮影でした。

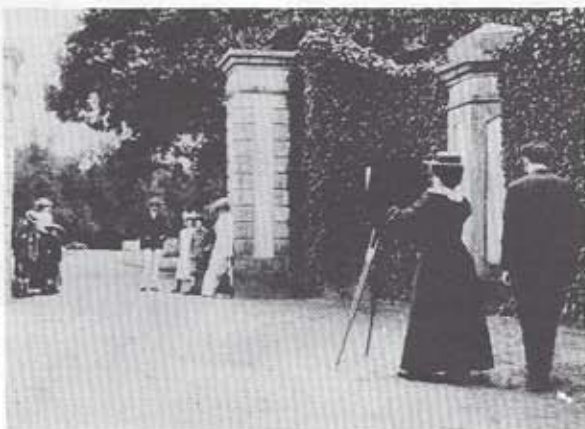
カメラは当時もちろん大変な貴重品で大衆とは全く縁のないものでしたが、一八九〇年代になると特権階級の貴族や大金持ちには手が届いたのでしょう。

イザベラが誰に写真を教わったのかはわかりませんが、当時の大公一家の家族写真、私生活の様子や、親戚や従者をまじえた狩りのパーティーの様子などを写したその作品は歴史の記録としても

大変興味深いものです。一方、九人もいた子供達、わけても末っ子で一人息子のアルブレヒトの赤ん坊の時から青年に成長していく様々な場面の写真がたくさん撮られているのはいかにも女性らしく、ほほえましく思われます。

共産主義体制だった一九七六年のある日、ブタベストの博物館に、古い写真が八百枚と六百枚のネガが持ち込まれました。内容についての日付や記録はほとんどありませんでしたが、百年近くたったものにしては状態がよく、調査した結果すぐにこれがハブスブルク家のフレデリック大公一家の貴重な記録であり、その主たる撮影者がイザベラであることがわかりました。

第一次大戦で一家の運命が一変し、各地を転々としたイザベラと共にこれらの写真もあちこち流



写真を撮るイザベラ大公妃

転したはずで、一九三〇年代に夫婦が没した後は、息子が持っていたと思われませんが、そのアルブレヒトも一九五五年に亡くなっています。イザベラの写真は第二次大戦前後にかなり散逸し、持ち込まれたこれら八百枚余りは二つのトランクに収められて何とか戦火をくぐり抜け、幸いにもほとんど傷つかぬまま、この博物館に引き取られました。

イザベラは田園や山野の風景、各地方の様々な部族の風俗などもたくさん撮っており、それらの写真をアマチュアとして専門雑誌に載せたり、写真展に出したりして好評を得ていました。

私はブタベストのハンガリー近代歴史博物館で、このイザベラの作品をたくさん見せてもらいました。高い評価を得ていた景色や風物の写真だけでなく、人物写真でも、当時大きなカメラを三脚にのせて貴重なフィルムを一枚ずつ取り替えながら撮ったことを考えると、シャッターチャンスのとらえ方が上手で、人々の表情や動きをうまくつかまえ、生き生きとした作品にしています。その腕前はなかなかのもので感心しました。

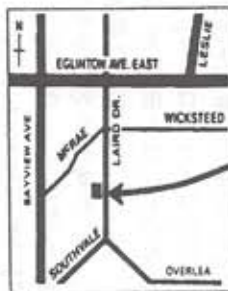
もし今の世にイザベラ大公妃がいたら・・・。すこ腕の女性政治家か、一流のプロ写真家になつていたのではないのでしょうか。
(日本カメラ博物館館長、衆議院議員、まゆみ会会報「あゆみ」より転載)

新司・割烹みかど

- お子様メニューもございます。
- お寿司その他デリバリー致します。
- 20名様までご宴会うけたまわります。

シェフ オーナー 樹田 佳一
114 LAIRD DR. LEASIDE, ONTARIO
PHONE: 421-6016 LICENCED

日曜定休



JEAN-PIERRE & KRISTENSEN

ジョン・ピエール & クリステンセン美容室



美容一般、着付、エステ

960-0335

予約はユミ子まで

29 Bellair St. Unit 207, Toronto
(地下鉄 Bay 駅下車、Bellair 出口すぐ)



オーロラが
おじさん!

オーロラの下で



イエローナイフの空に広がるオーロラ

“イエローナイフで見た この冬最大級のオーロラ”

横道文司

北緯六二度二七分、極寒のイエローナイフにやって来た。そう、宇宙の神秘「オーロラ」を観るために、彼の地を訪れた。本誌「オーロラ」にオーロラの記事を書く。至極光栄なことだが、果たしてオーロラが見えるのか？期待と不安に胸をふくらませ、空港に降り立つ。空港では地元のアサー会社の女性がこやかに出迎え、簡単な日程説明の後、極寒のオーロラ観測にも耐えうる特別の防寒着をレンタル、早速空港ロビーで着替え、いざ町へと向かう。

★オーロラベルトの真下

イエローナイフはノースウエスト準州の州都、人口約一万七千人の町。今は絶滅してしまったイエローナイフ族という先住民が暮らしていたが、一九三〇年代に金鉱の町として栄え、多くの白人系カナダ人が流入した。現在は日本の五倍にも及ぶ広大なノースウエスト準州を管轄する州都として、人口の約三分の一が政府関係機関に勤務する。また、九〇年の初めにはダイヤモンドも発見され、新たな脚光を浴びている。高層ビルもなくこじんまりした町だが、思った以上に都市機能は充実している。九九年四月からは現在のノースウエスト準州が先住民(インディアン)による初めての自治州に二分されることが決定、当地の大きな話題となっている。

こんなイエローナイフは、オーロラベルトの真下に位置する町として、北欧のラップランド、アラスカのフェアバンクスと共に三大オーロ

ラ観測地点とされている。これまで日本からのオーロラ鑑賞は、アラスカのフェアバンクスがメッカだったのだが、ここ六、七年ほど前から周囲に山がなく晴天率が高いため高確率でオーロラが見えることを売り物にして、日本人向けのオーロラ観測ツアーが始まり、一気に多くの日本人ツアーリストが極寒の時期にもかかわらずどつと押し寄せるようになった。我々が参加したツアーも百%日本人のツアー客で、カナダに来て以来こんなに多くの日本人観光客にお目にかかるのもめずらしく、ちよつと異様な気がした。

一方、大都市トロントのカナダ人達に、「イエローナイフに行くんだ」と言うと、そのリアクションは概ね「絶句」。かなり間をおいて「気の毒に」(大きなお世話だ!)とか、「寒いだろうネエ」(当たり前だ!)とか、あまりこちらの正気を信用しないものばかり。そもそもカナダ人でイエローナイフに言ったことがある人が極端に少ない。どうも、カナダ人にとっては、オーロラが素晴らしいことはわかるけれど、高い飛行機代を払ってわざわざこんな寒いところまで来るといふ気にはなれないらしい。「寒さ」はカナダ人にとって一日でも短く、少しでも暖かくあって、ほしく、避けたいものなのかも知れない。

★ワイルドな「極北料理」を堪能

さて、初日は、昼間ノーザン・ヘリテージ・センターの充実した展示を見学し、夕食にはカリブヤジヤコウ牛、北極イワナ(アークチイ



ツク・チャー)の刺身(脂がこつてり乗ったスモーク・サーモンという感じで最高!)など、ワイルドな「極北料理」を堪能した後、午後九時いよいよオーロラ観測に向かう。

オーロラ観測には忍耐が必要。晴天であれば必ず見えると言うことなのだが、本場に爆発するようなオーロラが臨めるのは、一晩のうちわずか十分程度。少しでも観測によい条件をとツアー会社が考えたのが、午後九時から午前一時の約四時間、零下三十度近い中でオーロラの出現を待たないといけないのだから、ちよつとした覚悟が必要だ。レンタルした専用の防寒着を着ていても、徐々に足許から冷えが伝わってくる。もちろん、四時間ずっと外に出っぱなしというわけではなく、暖がとれる施設が用意されているのだが、最高の瞬間をとらえるには、悠長に暖をとっているわけにはいかず、常に「いざ出陣!」といった心構えが必要になる。

極北料理のディナー



★オーロラが激しく舞う夜

我々が到着した初日の夜から雲一つない絶好のオーロラ日和となった。北の夜空には北極星を以てさんで北斗七星とカシオペア座が、南にはオリオン座やその「腋の下」にあたる主星ベテルギウスと、大犬座のシリウス、子犬座のプロキオンが結ぶ「冬の第三角形」が満天の星の中でひととき光彩を放っている。天野川の白い帯もうつすらと天空を横切り、条件としては最高。胸は期待で膨らむばかりだ。湖上に到着すると、すでに北の空には緑のうつつらとしたオーロラが横たわっている。お、出てる、出てる。ゆらゆらと揺れながら少しずつその姿を変えていくさまは何とも神秘的だ。ただ、こんなにも簡単に見えるのかと、やや拍子抜けしてしまったのも事実。そして、オーロラをバックに記念撮影。オーロラが消えるまでにツアーのグループ約三十名が入れ替わり立ち替わり露光のため約三十秒間カメラの前でポーズをとる。「ハイ、では次の方、急いで、急いで。」こちらも自分のカメラを持ち出して、オーロラ撮影に挑戦(極寒の中での撮影はかなり難しいのだ!)。でも何か、温泉団体ツアーのようでもちよつと興奮気味。それに正直言って、オーロラも大きな期待を抱いていた割には、「へえ、こんなものか。」しかしここで記念撮影をするくらいなのだから、やつぱりこんなものなんだろうと……。しかし、その後自分の認識の甘さを思い知

らされることとなった。

オーロラの出現も小康状態になつて、しばらく近くの施設で暖をとっていると、真夜中十二時近くになつてツアー会社のスタッフから「そろそろオーロラがはじけそうなので、外に出てきて下さい」の声。「はじけるって何?」言われるままにカメラを手に外に出てみると、先に出た人が「おーっ」と歓声を上げていた。いったい何?と空を見上げると、我々の頭上、東から西の夜空にかけて幾重ものオーロラのカーテンが緑白色の光を放っているのではないか。時にその裾のあたりをピンク色に染めながら、何とも信じられない速さでその姿を変えていく。緑のヴェールをまとった魔女が踊り狂っているようだ。カメラ、カメラとじたばたするが、動転してカメラのセッティングもままならない。下を向いている時間も惜しく、もう眼に焼き付けるしかない、金縛りに遭つたようにその場に立ちすくみ、空を見上げた。

まもなくひとすじのオーロラは、北の空に縦縞の帯を水平に横切らせている。縦縞が亡霊の影のように、あるいは白無垢の巡礼者のように、列をなして夜空に消えていくようにも見える。その様は美しさを通り越して、畏怖の念をかき立てる。もし、オーロラに関する知識を持たず、ひとりでの光景に出会つたらこの世の終わりのように恐れおののいているに違いない。この辺りの先住民はオーロラを不吉の前兆と見なし、オーロラが激しく舞う夜には外には出

湖の氷上で筆者



ないようにするという。その気持ちは大げさではなく理解できるくらい自然の驚異を知らされた体験であった。後から聞いた話では、この日のオーロラはこの冬でも最大級のものだったそうだ。

翌日、翌々日の夜は空はあいにく厚い雲に覆われ、夢ふたたびとはならなかったが、オーロラの発生の仕組みなどについて、ツアー会社のスタッフからわかりやすい説明があった。オーロラは太陽風と地球の事情の相互作用がもたらす、地上百メートル以上上空で起こっている大放電現象であること、その放電量は世界の一日に使用する電力量にも及ぶこと、一年中いつでも見えるものであること(ただし、高緯度の地域は夏場夜が極端に短いため観測には適しない)、トロントでも年五回ほどは見えることがあること、などなど。その発生のメカニズムを学ぶことにより、違った意味でオーロラを楽しむことができる。我々が参加したツアーの日本人スタッフは、みんな非常に真面目でオーロ



犬ぞり

ラの素晴らしさを皆と分かち合いたいという気持ちに溢れていて本当にすがすがしい。

★犬ぞり、スノーモービル、カリブ・ウォッチ、カーリング初体験 ツアー会社ではオーロラが見られる確率を高めるために、現地での三泊を基本としているので、昼間の過ごし方が同地での滞在をより充実したものにできるかどうかのキーポイントになる。出発前、寒さ以上に我々が心配したのは、昼間時間をどうつぶすかで、今にしてみれば笑い話だが、トロントから六十枚ものCDを持参、とにかく昼間はのんびり宿で音楽を聴きながら読書でもと覚悟を

決めていたのだ。だが行ってみるとツアー会社が犬ぞり体験ツアー、小型飛行機によるカリブ（トナカイ）ウォッチング、スノーモービルで行くアイス・フィッシングなどのオプションがずらりと用意されている。そうなる、ここでしかできない体験をやっぱりしてみたいというのが人情。我々も他聞にもれず犬ぞり、カリブ・ウォッチングに挑戦。その一つ一つが強烈な印象を振りまいてくれて大いに楽しんだ。

三日目のオプション・ツアーが急にキャンセルになり途方に暮れていた時、幸運にも前夜、オーロラ観測ツアーでボランティアをしていたイエローナイフ出身でカルガリー大学でツリーズムを勉強している青年にたまたま通りで出くわした。彼の父親は二十年ほど前から一時絶滅しかかっていた犬ぞり用のイヌイット犬を絶滅から救うプロジェクトにかかわっていたそう、今でも家で十数匹の犬を飼っている。これから餌をやりに行くところなので見に来ないかと誘ってくれた。現在、犬ぞりは実用からは遠く、レース用のものが生き延びているに過ぎない。従って使われる犬もハスキー犬とグレイハウンド犬を掛け合わせたものがほとんど。ところが彼が飼っている犬はレース用の犬ではなく、スピードこそさほどないが、寒さと重労働に強く、ほぼ狼に近い激しい気性のイヌイット犬である。凍った生肉や北極イワナをむさぼる姿は、まさに野生を感じさせ、いるような厳しい目つきは愛玩動物



氷上に着陸

としての犬のイメージからはほど遠い。

彼にはその後で、スノーモービルを湖上で体験させて貰った。冬のイエローナイフではスノーモービルが町を走りまわっていて、高校やコミュニティ・センターの前にはずらりと並んでいる。凍った湖の上を降ったばかりの粉雪を蹴散らしてぶっ飛ばす。思ったよりハンドルに重量感があり、平らそうに見える湖面が案外でこぼこしていて、スリル満点。木々に囲まれた純白の平面に思いのままの曲線を描いていくのは、なかなか爽快なものだ。

この日は現地のコミュニティ・センターでショートトラックのアイススケートやカーリングを楽しむ姿を見せてもらったりもした。カーリング場は二階がバーになっており、一杯やりながらゲーム観戦を楽しむ。実際リンクでカーリン

グも少し体験させてもらい（結構難しいものです）、初めてずくしの貴重な一日となった。

たまたまとはいえず、この青年のおかげで地元の人達がどのように厳しい冬の生活を営んでいるかに触れることができ、実に興味深かった。できれば先住民の人達の生活にも触れる機会があればなおよかったと欲が出る。オーロラ以外の楽しみを見つけることが、イエローナイフの滞在をより充実したものにできるかどうかのポイントになる。ツアー会社任せではなく、人見知りしない好奇心を活かせば、楽しみが広がる可能性はあるものだ。とにかく、来るまでは何が待っているのか全く想像もつかなかったイエローナイフの旅も、充実感いっぱい帰途につくことができた。

我々がお世話になった現地ツアー会社は、Canadian Exchange (1-800-669-9200) どちらかというカナダ在住の日本人を多く取り扱っている。イエローナイフまでの飛行機は自分で手配する必要がある、旅行代理店を通して予約すればよい。現地の宿泊はホテルとB&Bがあるが、むしろ安価なB&Bをお薦めしたい。我々が宿泊したB&Bはお洒落で清潔、湖に面した居間から臨む景色が美しく、オーナーの心尽くしの朝食も絶品。とても快適で、女性ひとりでも安心して宿泊できる。（国際交流基金トロント日本文かセンター）

カナダで引退 やりたいことがいっぱい！ 奥村 勝・仙(のり)夫妻



カナダで引退生活を送る日本人が最近とみに増えている。特にカナダに駐在した元駐在員でそのままカナダに居着く人、定年後カナダに戻ってくる人が多い。中には夏はカナダ、冬は日本と棲み分けて優雅な暮らしの方々もいる。

十一年前、ソニー・カナダのトップだった奥村さんも昨年三月、ソニーの子会社、ソニー・ロジステックの社長を退任して、カナダに戻って来られた。

「ソニーを卒業、無事カナダに帰って来ました。」というクリスマス、カードを頂戴したので、三月半ば、エージンコートのお宅にお訪ねした。

「ヤア、いらっしやい！」白い頬ひげを除いては昔のままの奥村さんが、にこやかに玄関のドアを開けて下さった。

「カナダに戻って来ようと決心されたのはいつ頃ですか？」
「ウイニペグからトロントに移って

しばらく経ってからだから、八十年代前半でしょう。ソニー・カナダは一九七五年にカナダの会社と合併でウイニペグに設立されました。合併期間は二十年間で、二十年経ったら自動的に百パーセント、ソニーの会社になるという契約でしたから、二十年後の九五年には僕は五十八歳になる、その時には三人の息子も大きくなるだろう、三人ともカナダに残りたい、という希望だったので、日本の家を整理して、カナダの家のローンを払い、こちらに残る態勢を作りました。」

「七五年十一月に雪とマイナス二桁のウイニペグへ赴任したときは、凄い所へ来たなアと思いましたが、二年目の冬から子供達もホッケーを始め、コミユニティと親しくなり、随分助けてもらいました。今ではウイニペグは忘れられない場所です。」

「七八年にトロントに移り、八八年春に日本に転任を命じられました。その時はソニーに入って初

めて考えましたね。今ならまだ転職出来るかも知れない、ともね。でも、私にはソニーに対する思い入れがあつて、これは最後のご恩返しだ、と入社以来海外の仕事ばかりしてきたのですが、初めて日本の仕事に取り組むことにしました。ソニーの物流をグローバルにサポートする会社で、東南アジアへの物流をサポートする子会社をタイ、シンガポールに作るなど、得難い経験をいたしました。」

「引退を個人的に決心したのは九七年の暮れです。家内に相談したら「いいじゃないの」ということで、年が明けてすぐ（家族のいるカナダに帰りますから、ソニーを卒業させて下さい」と申し入れたら、快く受け入れられました。役員定年は六十三歳なので、それまではいられるのですが、昨年三月に役職を全部退任し、八月に引越してきたわけです。」

「やっぱり昔風の日本人だなと思つた、と自分を育ててくれた会社と人々への思い入れについて語る奥村さんである。」

「それで、引退なさってから何をされているのですか？」

「今、何してるの？つて皆に聞かれますよ。四十年近くソニーにびつたりくっついて、一週間のうち三日が出張というようなスケジュールでいたのだったので、引退して本当に自分の趣味で楽しい生活が出来るかどうかが自分でも心配してたんですよ。でも、何もしないつてこと実にいいですよ。それに本をゆつくり読めるつてことはい

ですわね。」

「昔からエンジンアリングに関心があつて、コンピュータが大好きで、ソニー・カナダではメインフレーム時代の八十年代に Eメールを導入していましたから。カメラは気遣いだし、オーディオも大好き、中学時代は絵、高校では野球に夢中、大学以降はやりたいことがいっぱいあつて……今は毎朝、インターネットでニュースとメールをチェックすることから一日が始まります。」

「昨年は家の改築で忙殺され、今年は一月のドカ雪にびつくり、暖かくなつたら、とりあえずどこかゴルフ・クラブに入ることから始めたい、と言われる。」

目下一番の問題は、永住権を *Permanent Resident* に切り替えたが、その有効期間の二年を三年と思ひ違ひしたため期限が切れてしまい、永住権復活を申請中で、その間は出国できず、カリフォルニアのお孫さんに会いに行かれないこと。

「ソニーの関連会社から、健康に関するアダルトの商品、サービスでおもしろいものを探して欲しい、と頼まれているので、もしかしら、ある意味で責任と義務を負つたことをやってみる気になるかも知れませんか。」

仙夫人お手製のおいしいストロベリー・ショートケーキをご馳走になりながら、豊かで活力溢れるお話をいろいろかがい、まだまだ引退されるのは勿体ないのではないか、と思つた。
(K・H)
(写真は奥村さんご夫妻)

カナダ往還

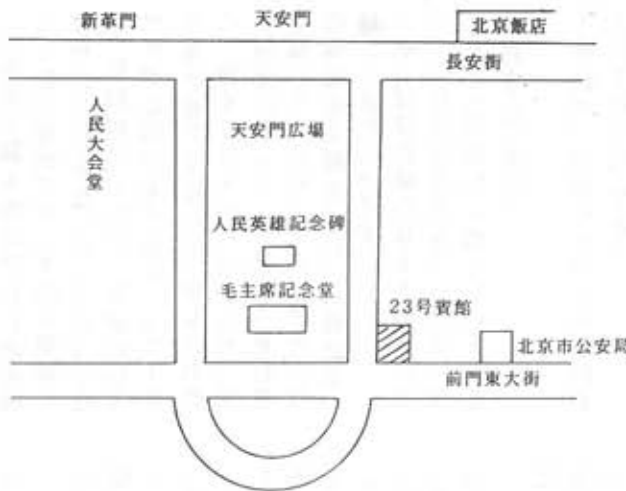
十年前のある事実

天安門広場脇の舎宅賓館で遭遇したこと

足立誠之



【天安門広場と舎宅の略図】



銃声はよく言われる「乾いた音」といった生易しいものではなかった。グウィン、グウィン、ドゥアイン、ドゥアインという腹、腸に響く轟音だった。午前六時に目が覚めてから八時まで鳴り続けること約二時間。発射された弾量は一秒間一発として七千二百発、二発として一万四千四百発の計算になる。

扉に囲まれた二十三号賓館の建物の一つ(舎宅)から外出することは出来なかった。賓館の扉の西側は道一つ隔て天安門広場に接している。(当時この道と広場の間には目にとまるような遮蔽物はなく広場と道は一体であった。)二階の南側のベランダ越しに広場の東南方向から人の一団が押し出される様子が見えた。

一九八九年六月四日、天安門事件はまさに目の前で起こっていた。

広場の様子が変なのです。「H君の声は早口になると多少吃る。」

H君の乗ってきたタクシーに乗り、広場の回りを囲む道を長安街に出た。広場もそれを囲む道も人々が続々と集まってくる。「お立ち台」の上にも交通警察の姿はない。西の新華門までは距離にしては数百メートルもないのであるが、長安街は人でいっぱい。あきらかに引き返したのは午後八時。戒厳軍が進駐する三、四時間前である。

そして、目が覚めると、耳に入ってきたのが銃声であった。翌五日、兵士が時折り乱射しながら門の前まで来る。その間を縫って、救出に来てくれたA君と脱出した。(以降の詳細は省く。)

一九八九年四月、胡耀邦前総書記の追悼に始まった民主化運動は、五月十七、十八日にはピークとなる二十三号賓館の前の広い歩道はデモに参加するあるいは見物する市民の自転車の駐車できれいになくなる。誰もが盗難を

心配していない。当時の北京市民のモラルの高さが推定できよう。そして、五月二十日戒厳令施行。軍隊の進駐前緊張が漲ったが、郊外で進駐を止めるように説得する市民に兵隊が苦笑いし、市民から食べ物を受け取る等で、「解放军は市民を打たない」というムードが流れ、緊張はホット解けていった。そして日を追って広場の群集は減り、学生運動もすつか

り下火になった。「民主の女神」が広場に立てられたが、もう学生の劣勢は覆うべくもなく、いずれ公安による検挙が始まり、事件は学生、市民側の散北で終わることは我々の目にも明らかであった。

日本人学校も再開され、各企業が自粛していたゴルフも六月三日には解禁し、我々もその十数時間後戒厳軍が銃を発射しながら進駐してくるとは想像すら出来ず、ゴルフ場に出かけたのである。

全ての情報から考えて、戒厳軍の銃を乱射しながらの進駐は完全な奇襲であった。

「兵者詭道也、故能而示之不能、用而示不用、近而示之遠、遠而示之近、利而誘之、乱而取之、実而備之、強而避之、怒而撓之、卑而驕之、佚而勞之、親而離之、攻其無備、出其不意、此兵家之勝、不可先傳也。」(孫子計篇第一より)

事件から半年後の九〇年一月十一日、戒厳令は解除された。その日の朝、我々は天安門広場に入り、英雄記念碑の石段を上がった。石段は戦車が装甲車による轍の跡がありありと刻まれていた。武装警察官が警備する中、邦人派遣スタッフに写真を撮らせてた。戒厳令解除の後であることと、よもや我々があからさまに写真を撮ることは予想しなかったのか武装警官は不動の姿勢で警備を続けるのみであった。この轍はその後すぐに修復されたので我々の写真は貴重な証拠となった。

事件後中国当局は「暴乱」(天安門事件を当局は暴乱、あるいは風波と呼び、また呼ばせようとした。しかしながらこの言葉は中国人の間ですら使われなかった。一般的に使われたのは「六・四事件」という呼称である)による死者は約三百人(広場での死者は無しと発表した。真もなく日本の某教授が「午前五時半、学生と戒厳軍の間に話し合いが成立し、学生は広場から平和裡に撤退、天安門広場に死者は出なかった」という説を詳細に「論証」した。更に事件から五年後、NHKはスペインの放送局が当時撮ったビデオが見つかったとして、そのビデオを根拠に広場で死者は出なかったと放映した。

もう十年になろうとしているこの事件で、特筆すべきは時の流れについての中国当局の智恵である。時間、時の経過というものが人に与える影響への驚くべき洞察力を持ち、時の経過を利用するという点に長けた中国人に対し、目の前の餌にしか気がつかない鶏のような日本人は所詮敵し得ないのかも知れない。

日本人にとって天安門事件はもはや忘却の彼方にあるし、そのことは先刻中国当局も計算済みのはずである。

天安門広場で何があったかは謎だ。私自身余りに危険で広場には近づけなかったため、死者や死体は見えていない。ただ、六月三日から四日にかけて、もっとも長

時間、天安門広場の近くにいた日本人として見た耳にしたことは、左記の大学教授、NHKの説とは全く違う。

奇妙に感ずるのは、多くの日本人が天安門広場で死者がなかったという結論を潜在的に望んでいのように思えてならないことである。彼らは多分、そうでないと中国との付き合いが心情的に出来ないのだろう。その心情から広場で死者がなかったという説が、あれほどまでに日本で繰り返されることになったのではないか。そしてそれは又中国当局にとって願ってもない説なのだ。こういった心情をベースとして且つ中国当局の耳に快い専門家の中国論ほど危険で、滑稽なものはない。

過去においても又、将来においても、歴史をそのまま信じることほど危険なことはない。歴史家、学者といった一見権威があるような人々によって客観的と称する資料をベースに組み立てられた「事実」の持つ危険性はこの天安門事件が示している。

「人間ならば、誰にでも、現実の全てが見えるわけではない。多くの人は見たいと欲する現実しか見ない。」——ジュリアス・シーザー(塩野七生著「ローマ人の物語」より)

(インドネシア中央銀行顧問)

健康

お腹すっきり、へいお、

腸のお掃除

毎日、順調に流れている下水管も、長い歳月の間にはヘドロが滞積する。私達のお腹の中でも同じ事が起きていることをご存知ですか。

毎日食べた物が、排泄されずに貯まった宿便は、ヘドロの様に腸壁にこびり付いて、栄養の吸収を妨げたり、そこで増殖した菌が、ガスや毒素を出し、いろいろな病気やアレルギーの原因になっているのです。さて、体の洗浄は、春先にするのが一番と聞いて、さっそく家族で試しました。

腸の掃除には、期間中、野菜ジュースと水しか取らない絶食法や、腸に直接水を流し込んで、洗い流す腸洗浄や、植物繊維の入ったフォーミューラーを飲む方法があります。私は一番簡単な、フォーミューラーを毎晩一ヶ月にわたり飲むことにしました。方法は簡単。添付のスプーンで軽く一杯の粉状の物をオレンジ・ジュースに溶かして、夕食後に飲みます。飲み始めた翌日からお通じが良くなつてあまり疲れを感じなくなりました。更に二週間後、下腹がスリムになったことに気が付きました。太つてお腹が出ていると思つていましたが、余分な物が貯まっていたのです。家族も、お腹すっきりで、機嫌が良くなりました。

このフォーミューラーは、ベイ百貨店地下にある健康食料品コーナーで求めたミュ・グリーンズというフォーミューラーです。これは、成分の百パーセントは野菜と果物から取った繊維と消化酵素で特に副作用はありません。(後藤順子)



今日は「東京裏通信」というよ
り、私がこの東京に居てキャッチ
した世界中に散らばっている友達
からの情報を読者に御披露した
いと思う。全員各企業の駐在員
なので、今回は「世界生き生き情
報」ということになる。

『香港』

中国への返還後、街から日本人
の姿がパタリと途絶え、さしも賑
わった免税店もガランとしてしま
った。その代わりというか日本への
旅行熱がフィーバー。香港観光協
会の話では十人に一人が日本に
行った経験があると答えている。
何故こんなに日本に人気がある
かというと、台湾経由で来る海賊
版のドラマのソフトが広東語の字
幕入りで大量に出回っているから
とのこと。

『北京』

今一番売れている物はTV、
冷蔵庫、洗濯機等で、大型は売
れずに小型ばかりが店に並んでい
る。しかも国内メーカーの品だ。
何故かという、中国市場に海
外企業が進出し、駐在員の数が
増えたこと、数年前から政府が
持ち家制度を奨励しているの、
若者が一人暮らしを始めたこと、
一般人も部屋数の多い家を持ち
始めたこと、等による。一家に
二、三台は当たり前になってしま
った。

『エジプト』

携帯電話の数が爆発的に増え

ていて、今やステータスシンボル
だ。九三年頃サービス開始の予
定だったのだが、イスラム過激派
が大暴れをしていた時期だったの
で、政府がストップをかけていた。
でも、この二、三年は過激派がお
となしいので解禁にしたところ、
待たされていた反動で加入者殺
到。公務員の月給が三百ドルだ

東・京・裏・通・信

世界生き生き
「物々」情報

尼子三矢子



というのに、加入料は六百ドル。
借金をしてまで買う人が絶えな
い。娯楽の少ない国なので人々は
盛大に長電話を楽しんでいる。

『ドイツ』

何といつてもこの数年の緑茶ブ
ームは凄い。キャッチフレーズの
「癌に効く」というPRが人々の

心を捕らえているからだ。実はド
イツ人は薬というものをあまり信
用しない民族で、最近は自然食
品などが注目的になっていると
ころへ、学界が「緑茶の中に含ま
れているカテキンがガンに有効」
と発表したの、我が社(商社)
は昨年より四トンも多い注文を
受けた。日本の赤ワインブームが
「脳卒中に効く」と云われているの
とよく似ている。

さて、これらの情報を下さった
人達は、外国へ物を売りに行っ
ている企業の社員なので、「物」に敏
感なところが面白いと思う。シン
ガポールの友人はジョークを作る
のが得意な人で、今回も面白いネ
タを送ってくれたので、いわゆる情
報とは関係ないかも知れないけれ
ど、次は笑っていただくことにす
る。

『日本の総理は、海外の要人に会
いに行く時は、必ずお土産の中に
和菓子を一品加えて持参する。
この前アメリカのクリントン大統
領に会いに行った時は、上等の最
中(モナカ)を差し上げた。さて会
談も終わって最後の日、送りに来
た大統領に「先日の中(モナカ)
のお味は如何でしたか」と総理が
尋ねたら、クリントン大統領は顔
を真っ赤にして下を向いてしまっ
た。大統領はモナカとモナカを聞
き違えたのだった』

こんなジョークを作って送って
くる駐在員がいるシンガポールは平
和な国なのかも知れない。

そうそう肝腎の「カナダ」があっ
た。カナダの情報を下さる方はF
夫人である。週に一度か二度、必
ずトロントからの新聞の切り抜
き、街の声、生活の様子から天候
に至るまで、まるで記者魂を持っ
て生まれたような正確な情報を
送って下さる。そのおかげで私は
市長選挙で誰が勝ったか、イート
ンがどうなったか、メガシティの
様子、郵便局のストライキがどう解
決したかまで、ジャストナウな情
報が手に取るように判るのだ。彼
女の文章は一流の記者も顔負け
するくらい簡にして要を得てい
る。それなのに決して表舞台には
出ない。勿体ないことだ。こんな
日本女性が暮らしているカナダ
は、やはり素晴らしい国なのだろ
う。

格安でよい品物をお探しなら当店で!!



小沢カナダ

- ・ ZOJIRUSHI, Panasonic Rice Cooker & Airpot
- ・ Henckel ・ 家庭用品 ・ 電気製品 ・ 日本食品
- ・ メープルゴールドコイン、メープル・シロップ

135 EAST BEAVER CREEK RD. UNIT 3. RICHMONDHILL,
ON L4B 1E2 Eメール: ozawaine@instar.ca

TEL (416) 229-6343 (905) 731-5088 FAX (905) 731-0778

「海外で暮らしてみたい！」と夢見て、勤めていた保育園を退職して、ワーキングホリデーヴィザで来加したのは九十七年の春のこと。飛行機の窓から眺める景色が、故郷の桜島から、真っ白な凍った湖の点在する大地に変わって、本当に寒いところに来たんだなあと感じました。

最初の一年は、気候や生活に慣れるのにあつという間に過ぎてしまったように思えます。ホームステイ先やベビシッターの仕事先など、必ず日本語の通じる所を選んで、楽な環境に居ました。英語で何かを話そうという勇気を持つのに、かなり時間を要しました。

二年目を迎えて、台湾人の大家さんのアパートに引っ越した頃から、自分の周りの環境が変わり始めました。カナダ人や中国人のハウスメイトが出来たのも嬉しい。英会話での失敗談は未だにあるけれど、失敗が怖いとか恥ずかしいという気持ちが無くなりつつあります。

何よりも、新しい生活の中で、大きな喜びをもたらしてくれたのは、タップダンスを習い始めたことです。

ワーホリ・ トロント生活記

～タップで幸せいっぱい～

柳元満佐子

日本でもタップダンスをしていましたが、私にとって、一生活けていきたい趣味のひとつ。トロントでは、昨年の一月から初心者クラスを週一回とり始めました。全て英語で教わるのは不安だったけれど、幸いにも殆どのステップ名は、「フラップ」「ステップ」「シャッフル」など聞き取れたし、あとはひたすら先生の動きを真似するのみ。仕事帰り

のビジネススマンやビジネスウーマン、十代の男の子とお母さん、ちよと年配のご婦人達と一緒に、音楽にあわせて一時間半ほど汗を流すのはとても楽しい。このクラスが終了する頃、先生の紹介で別のタップグループの練習に参加することになりました。

ここで、真っ赤な靴下と紅白のタップシューズを履いてステップを踏んでいるビール腹の立派なおじさんや、同じく胴回りは大きいのに、顔は小さく、脚のほっそりしたおばさん達に出会いました。まもなく、五月二十五日にトロント支庁舎前の広場でナショナル・タップダンス・デイの発表会があると知らされてびっくり。そうして、私も参加することになって、またまたびっくり。「なんとか当日までにステップを覚えなければ」と帰宅してからも、音をたてないように裸足で練習したり、ヤング・ストリートを歩いているときでもステップを頭の中で反復したりもしました。

いよいよ発表会の日、平日だったせいか、ランチタイムを利用して、市庁舎前広場には多くの人が集まって来ました。約二時間にわたり、トロント市内外から集まったグループがタップダンスを披露。ダンサーを目指して学んでいる若者達のグループ、趣味でタップしている人達のグループと様々な参加者達。

その中に、網タイツにブロードウエイばりのきらびやかな衣装に身を包んだ一団がいました。クラスメイトが私の耳元で、「あの人達の平均年齢は六十才以上だよ。右から三番目の人は七十才を超しているそうよ。」と教えてくれました。年齢や外見を気にせず、「タ

ップってこんなに楽しいのよ。生き生きしている私達を見て！」と言わんばかりの堂々とした姿に、「お見逃れしました」と言いたくなりしました。とても素敵なお年寄りの皆さんの踊る姿に、これは日本ではちよと考えられない光景だと思つづく思いました。年に一回、こうしてタップを愛する人達が集まり、一般の人達に披露する機会が持てるのも、とても素晴らしいところですね。

現在、私は、今年のタップダンス・デイに向けて、練習を続けているところです。最初の頃は、なかなか仲間の会話にも参加せず、タップだけをしていただけで、今では、時には皆で飲みに行ったり、一緒にダンスのショーを観に行ったり、クラスメイトの家に遊びに行くこともあります。タップを通じての出会いには、とても大きい。タップは、私に幸福をもたらしてくれました。

日本で暮らしていた時にも、きっと私の周りには、沢山あったであろう出会いや幸福な思い。それに気付かず、仕事の忙しさに振り回されていたように思います。視野が狭かったことを感じてしまいます。カナダに来て、多くの輝いている人と出会い、彼等との関わりを通じて、ちよと自分自身に自身がありました。穏やかな生活の中で、自分を見つめる機会が持てたのがよかったです。

本当にカナダに、トロントに来てよかった。私にたくさんのハッピーを与えてくれたカナダに、そしていっばいの愛情で私を応援してくれる故郷の父と母に伝えたい。

「ほんとうにもありがとう。」



この冬、久しぶりにダンスの話が世間をにぎわしましたね。ナシヨナル・バレエ・オブ・カナダのディレクター、ジエームス・クデルカとプリンシパル・ダンサー、キンバリー・グラスコの訴訟問題です。事の起りはディレクターがキンバリーを解雇することから始まるのですが、キンバリーはその前の理事会での彼女の発言が発端になつてると主張しているらしいです。この春、ナシヨナル・バレエでは、「白鳥の湖」をクデルカの振り付けで全幕改作することになっていますが、彼女は莫大な費用がかかるこの案に理事会で反対の意見を述べたのです。クデルカはそれが原因での解雇ではないと、はっきり新聞などで否定しています。

ナシヨナル・バレエはクデルカが芸術監督に就任してから、ここ数年でカンパニーの体制、カラーが随分変わりました。こういったことは全然めずらしいことではないのですから、彼女は当然それを承知でカンパニーに留まっていることになりません。クデルカも散々言うように、彼女は彼女自身が演じたいレパートリーを持つカンパニーで活躍するチヨイスがありながら、なぜナシヨナルで踊ることを望むのか、私自身もよくわかりません。今のナシヨナル・バレエはクデルカの作品を中心にコンテンポラリー作品をレパートリーに多く上演しています。キンバリーは古典しかやれたがらない、従ってプリンシパルでありながら出番は年に四回ほど。それでいて、カナダ

の現役で活躍するダンサーの誰よりも高い給料をカンパニー側は支給しているわけです。カンパニー側としては、出番の少ない彼女を雇う給料で、コールド・バレエ・ダンサーを三人は増やせるのです。この数年は毎年ダンサーを減らさなければならぬカンパニーの状況を考えてみても、踊らないダンサーを雇っておく余裕はないのです。双方に矛盾が大きすぎると

い人が多いです。お互いに。私がキンバリーに同情できない理由は、彼女のカンパニーに所属しながらの姿勢に納得できないものがあるからです。結局、ナシヨナル・バレエ団のダンサー達もマネージメント側につく決断をして、彼女は同僚からのサポートもなく孤立してしまいました。私達ダンサーは自分の可能性についていつも挑戦していくものですが、挑戦は



思うので、クデルカの采配は決して間違っているとは言えないと思うのですが、皆さんはどうお考えになりますか？

私もカンパニー・ダンサーとして働いていますので、この状況はすごくよく想像できてしまいます。ディレクターとウマが合わないことは仕事に大きくかかわってきますし、やはり芸術家、気むずかし

与えられるものではなく、自分で手に入れるもの。キンバリーが古典を極めたいというのなら、ナシヨナルでは現在その体制では機能を果たさないことがわかった時点で、それなりの行動をすべきだと思います。ここで踊ることを望むのであれば、それなりの自己改革をカンパニーと共にする覚悟が必要でしょう。

ダンサーのキャリアは他の職業

に比べて大変短いです。短いだけに時間を無駄に出来ません。自分の実力を最大限に発揮できる場所を見つければ、そのダンサー個人の責任だと思えます。自分の力を信じて強く前に進んでいくのは、大変勇気のいることですが、厳しいです。時にまったく自分の意志にそぐわない選択を強いられることもあるでしょう。それも現実的に受け止められるように、自分自身を訓練させてゆかないと、結果的には自分が不幸です。これは、すべて自分に言い聞かせているのですけれどもね。キンバリー・グラスコはとても愛らしい、チャーミングなダンサーです。彼女は自分の資質で充分これからもキャリアを伸ばし続けることが可能ならず、早く、思い切り羽を伸ばして舞えるステージを見つけて欲しいと願います。

今シーズンで私も、トロント・ダンス・シアターを退団する決意をしたばかりです。残りのダンス人生、もっといろいろな振り付けに接したい。まだまだ踊り続ける気持ちもありませんが、そろそろ自分が今までに授かった素晴らしい体験や知識を、これからステージで花開かせたい。昔のダンサーにも還元してゆきたいな、と思っています。慣れ親しんだこのホームを離れるのは、日が近づくにつれて、淋しくてたまらない。そんな、気持ち隠して？この文章、書いてみました。(トロント・ダンス・シアター 団員)

だいぶ前のことになるが、ハリウッド、二十世紀フォックス制作「ザ・フライ」という映画の、ある場面に使う雑誌のカバー絵を描いた。主演のジエフ・ゴールドブランの顔をリアルに描くものだった。資料として十数枚の白黒のスチール写真を預かったが、さて、困ってしまった。この俳優は、今でもすぐに素顔を思い浮かべることができ、大きな鋭い目、筋の通った硬そうな鼻、輪郭のはっきりした大きな口と、なかなか個性のある顔をしている。これだけ大きな特徴を持った顔なら似せて描くのはもつてこいのはずなのだが……

しかし、僕は、はたと困ってしまった。つまり、資料として貸してくれた写真は、それぞれ違う映画に、違うキャラクターで出演したものだったのだ。同一人物だから、もちろん特徴ははっきりしていて、すぐ彼だとわかるのだが、ふんいき、イメージが一枚一枚違っている。それらをつなぎ合わせて一枚の表情のある絵を描くのは無理だと感じ、こんどの映画の役であるサイエンティストになりきった写真が必要だと伝えたが、それは手に入らないという。結局、そんなふうにして苦労して描いた絵は、似ているような似ていないような、何とも表情があいまいな、意志力のない顔になってしまった。

案の定、自分が満足していかないのに向こうも満足するはずがなく、描きなおしになった。そして、こんど渡された資料写真は、役柄になりきった、はっきりした物だった。そうして描いた顔は、映画の

日塔富夫のにが虫にっこり

幻の古い新人



中でスクリーン一面に大寫しにされ、数秒間とどまるといふ大役(?)を演じたのだった。この、絵の使われ方といい、ベイも二枚の絵に対して払ってくれて、僕は満足だった。

去年十月「アプト・ビューブル」という映画を見た。ナチス元将校の生き残りの男が、アメリカの田舎町である自分の街に、まったく違う人間になりきって住んでいることを発見した高校生少年は、ひそかに彼に近づき、男の隠れて

住まなければならぬ弱みを利用、脅し、暗い過去ナチス時代の情報聞き出すとするが、老獪な男の罠(わな)にはまり、逆に脅される立場にいる自分に気がつくのだった。

老獪な老人を演じた役者に、僕は感心してしまった。名前も知らなく、今まで全く目にも聞こえなかったこともない役者が、こんなにうまく奥深い存在感のある演技を見せるなんて、すごい新人が出てきたものだと思ってしまう。

十二月、同じ俳優が出ている「ゴッド・アンド・モンスター」が封切られ、それを見た僕は、この人はオスカーをもらうのではないかと考えた。この映画でも白髪の老人を演じているが、二ヶ月前に見た映画の老人役とはイメージが全然違っている。全くの別人である。そして前の役柄では大分顔を作っていたのだったという事に気がつく。

たいていの俳優の場合、役柄が違い、またメーカーで顔を作っている、やはり原型は残るものである。個性的な顔をしている人ほど変わるのが難しくなる。つまり、この気になる役者は顔に特徴がなく、つかみどころがないのだ。なのに、あの映画の中の存在感の輝き、大きさはどうだろう。

この辺りになって、この人はイギリスの舞台俳優で「サー」の称号を持つてることがわかる。こうなると増々気になってくる。そして偶然、一九九五年に彼がプロデューサー、主演した、シェークスピアの「リチャード三世」を見る。そ

してそこに更なる別人を認めただった。

三本もの(…だけ?)映画を観たのに相変わらず素顔のイメージがつかめないでいる。多分「ゴッド・アンド・モンスター」の中の顔が素顔に近いのだろうと思われるが、これだつてわからない。現にシーンが変わると微妙に違った顔を見せる。要するにこの人は表情表現がうまいのだ。セリフが意味する一瞬一瞬の心の動きを、そのまま表情や動作に、繊細かつ剛毅に表現できる人なのだ。そしてそれから動きの中に、荒々しい粗野と洗練された上品さがにじみ出る。感情表現の良し悪し、それは俳優業の人達にとっては基本なのだろうけれど、なかなかうまい人はおらず、美男美女、そして個性的という姿の形でなんとかこまかしているのがほとんどである。

それにしても、最近の映画と俳優の量産には目を見はるものがある。もう当たろうが当たるまいが次から次と新作、新人が現れる。一本の映画を作るのには、金、人、時間、いずれも大量に消費されているのに、成功すれば四ヶ月、失敗すれば三週間で消えてしまふ。俳優も同じようである。日気がつくとき、まったく知らない名前がスクリーンを埋めているのだった。ベルトコンベアのように増々早くなっている。

イン・マッケレン (Ian McKellen) はオスカーのベスト・アクターにノミネートされた。映画を見たときの思わくが本当になり、僕は満足している。(イラストレーター)



□ベネチア

ベネチアは島なんですよ、道の代わりに運河が通っているのです、と前から聞かされていたが、実際には路地もちゃんとあって、橋を渡って何処へでも歩いて行かれる。小さい島なので、ものの三十分も歩けば端から端まで到達できる。ただし、島を二分している幹線道路に相当する大運河には三本しか橋が架かっていないので、考えて渡らないと、大遠回りになる。陸上車はいっさいなくて、バスは水上フェリー、タクシーは小型モーターボート。もちろん観光客向けのゴンドラもあるが、土地の人の輸送手段はモーターボートだ。

予約なしの出たとこ勝負の旅なので、頼みの綱はツーリスト・インフォメーション・オフィス、ヨーロッパの国は目ぼしい都市にはたいがい公営の観光案内所が空港、

駅にあり、観光の相談、宿泊の斡旋をしてくれる。大運河をはさんだ駅前のホテルを紹介して貰う。シーズンオフにも関わらず日米伊の団体で溢れかえり、ダイニングルームも団体サービスで忙しく個人客はお断り。

ベネチアの街は狭いくねくねした路地の曲がり角をひとつ間違えるところでもない方向へ行ってしまう。リアルトの市場に行こうと思っただけで、旧ゲットーの中に迷い込んでしまった。十二、三世紀にスペイン、ポルトガルから追い出された、ベネチアに逃れたユダヤ人達が住んだ一画で、ヨーロッパでもっとも古いゲットーだそう。人の流れについて歩いていくうちに突然、魚市場のど真ん中に出た。アドリア海から揚がったばかりの新鮮なピカピカの見たことのない魚がいつぱい並んでいて、おいしそうに思わず溜息が出た。

ホテルの宿泊費の中にガラス製造で有名なムラノ島往復の水上タクシー券がサービスではいつているが、小さなモーターボートで外海へといつてもラグーンの中に出るのが恐いので、定期フェリーで行く。島を後に海に出て、やっとベネチアらしい気分になった。沖から海にたゆたうベネチア島を眺めて、ベネチアは陸橋を渡って陸から来るより海から訪れる方がふさわしい所なのだと思った。

□アッシジ

聖フランシスコを祭る聖堂で知られるアッシジの町は鉄道のアッシジ駅から五キロほど離れた丘の中腹に広がっている。聖堂は町の西端にあり、九七年九月の地震の被害を受け、上下二つの聖堂のうち、被害のひどかった上聖堂はまだ復旧工事中で、公開していない。入口の回廊、塔も、まだ修復中である。大切な観光資源なの



聖フランシスコ大聖堂

で、朝八時から夕方日が暮れるまで突貫工事である。上聖堂には聖フランシスコの一生を描いたジョットーの壁画があるが、残念ながら見られなかった。下聖堂にもジョットー、アルベルト・シモーネの壁画があり、地下室には聖フランシスコの遺体が安置されている。聖堂の前庭にはキリスト誕生のベツレヘムのモデルが飾られている。聖堂の前のホテルに泊まったので、二泊まる一日の滞在中、三回も聖堂を訪れた。

アッシジは丘の中腹から上にくつついた小さい町なので、坂や階段を上がったり降りたり、二時間も歩けば町全体を見ることが出来る。冬場なので土産物屋もレストランも、寺院も閉めているところが多い。フィレンツェやベネチアに溢れる観光客は何処へ行ったのだらう。泊まったホテルも宿泊者はたった数人で閑散としている。日本の観光団多数グループと聖堂内で出会ったが、皆、聖堂をさあいつと一巡すると消えてしまう。土地の人の話ではアッシジでは寺院を見て、食事だけしてローマかフィレンツェに行くとのこと。

夕べの鐘が鳴ると、修道士や尼僧達が宿舎に戻るため町に出てくる。町の人達とは顔見知りである。のどかな光景である。

北イタリアの街

オノ・ミーズの

旅から

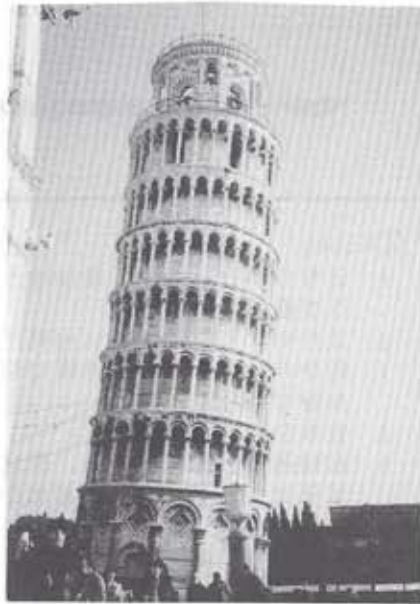


アッシジの町角で立ち話する尼僧達

□ピサの斜塔とブッチーニの家

シエナの駅のホームで、アッシジからシエナまで同じバスに乗り合わせた二人組中年女性の一人にばったり会う。バスを待つ間自分達は英語で話しているのに、こちらが何か尋ねるとイタリア語で答が返ってくるので、おかしな連中だと思っていたが、米軍人と結婚したスコットランド人で、フィラデルフィアから来た友達をアッシジとシエナへ案内して、友達はローマへ行き、自分はミラノの西にあるZAVOの基地に帰るところだと言う。所在ないので乗換駅までしゃべるが、「イタリア人は調子がよいが表面的で、イタリア語を話しても深みのある付き合いにまで発展しない。」そうだ。

ピサへ寄ることにしたのは、例の斜塔が倒れないうちに一見しておきたかったからです。駅から市内循環バスに乗って、城壁内の一隅にドーム寺院と斜塔を訪ねる。塔は年々傾斜がひどくなるの



ピサの斜塔



DENONTE SECRETE
CONTRO CHI OCCULTER
GRATIE ET OFFICII
O COLLUDERA PER
NASCONDER LA VERA
RENDITA D'ESSI

一月中旬、吹雪のトロントを逃れて訪れた北イタリア、アルプスを越えるとそこには太陽があった、といいたいところだが、しぐれてうすら寒い北イタリアの冬があった。

で、九二年以来観光客を閉め出し、柵を巡らして寄せ付けないようにしている。反対側からロープで引つ張っているが、見たところ今にも倒れそう。新聞に斜塔が倒れて崩壊しても新しい塔を建てない方がよい、という意見が載っていたが、真つ直ぐな塔など作っても誰も見に来ないだろう。斜塔になった理由を設計図付きでくどくど説明しているが、要するに川筋の地盤が悪い場所に設計に無理がある塔を建て、更に上に小さい塔を建て増したので余計に傾いたということ。

ピサから支線に二十分ほど乗ってルツカに向かう。城壁に囲まれたこじんまりとした絵葉書のような町で、作曲家のブッチーニの生家があるので知られている。生家が面した小さな広場はブッチーニ広場と呼ばれ、ブッチーニの座像が置かれ、生家は記念館になっている。生家の横のホテル・ブッチーニに泊まる。近くにブッチーニ・レストランというのもあったが、閉まっていた。

ルツカは十一、二世紀に出来た古い町なので、寺院も古く素朴で、ベネチア以来豪華絢爛な装飾過多の寺院ばかり見てきたせい



スカラ座の内部

□スカラ座

スカラ座でオペラを見るなど予想もしなかったが、偶然見る事になってしまった。スカラ座博物館に行くつもりが間違ってスカラ座に入り、切符売り場で天井桟敷席の入場券を買ってしまったからである。ちょうど三時からのマチネが始まるころだった。

オペラはプロコフィエフの「火の天使」。プロコフィエフがオペラを作曲したことなど、この時まで知

らなかつた。歌はロシア語で、プログラムテキストがイタリア語訳なので全くわけがわからない。純粹に音だけに集中することにした。主役歌手二人はロシア人。指揮者は常任のムッテイではなく、老練なバルトレッティだった。

天井桟敷は横二列に椅子が並び、二列めだったがよく見えた。天井の真ん中に巨大なシャンデリアがぶら下がっている。音は響きすぎるくらいだ。天井桟敷の観客



は飛び込みの観光客がほとんど。入場料は一万リラ(カナダドルで十ドルくらい)一番高い席が二百七十万リラ。休憩時間にロビー

に出て歩き回る。マチネなので着飾った人達はいない。案内人達が立派な制服を着て、大げさに丁寧な態度で観客に接している。

スカラの今シーズンのプログラムを貰ったので見ると、今はこのオペラと森花恵の衣装、吉井澄夫照明担当のバリ・オペラ座バレエ団の「シンデレラ」が交互に上演されており、四月にはモリス・ベジャール振り付けの東京バレエ団が出演する。日本とスカラ座はずっと近いようだ。

(K・H)

①Vata

1. 行動は早いほうだ。
2. 物事を記憶して後で思い出したりするのが苦手だ。
3. 生まれつき情熱的で、活発、陽気だ。
4. 体格が細く太らない体質だ。
5. いつも新しいことでもパッと覚える。
6. 歩き方は軽やかで速い。
7. 決断力があまりない。(すぐに決断できない)
8. ガスが溜まりやすい、又は便秘ぎみ。
9. 手足の先がいつも冷たい。
10. 不安な気持ちになったり心配しやすい性格だ。
11. 他の人と比較すれば、寒さに弱い方だ。
12. 早口で友人からお喋りだと思われる。
13. 気分屋で、どちらかと言えば感情の起伏が激しい方だ。
14. 仲々、寝付けない、又は熟睡できない。
15. 乾燥肌だ(特に冬は)
16. 思考が活発で常に想像力に富んでいる。
17. 行動は素早く、活発でエネルギーが張り裂けそうだ。
18. 興奮しやすい。
19. ひとりになれば、食事や睡眠時間など不規則になりやすい。
20. 覚えるのは早い忘れられるのも早い。

②Pitta

1. 能率がいい方だ。
2. 行動は非常に几帳面で規則正しい。
3. 意思が強く頑固な態度をとる。
4. 比較的、暑さに弱い方だ。
5. 汗かきだ。
6. 顔に出さないがイライラしたり怒りやすい。
7. 食事を抜いたり遅らせると不機嫌になる。
8. 若白髪、ハゲ頭、細い直毛。
9. 食欲旺盛で、その気になれば大量に食べることができる。
10. 人は私を頑固、傲慢と思っているだろう。
11. 規則正しい排便でどちらかというと便秘より下痢ぎみ。
12. ちょっとした事でイライラして我慢できなくなる。
13. 細部にも及ぶ完全主義者だ。
14. ちょっとしたことで腹が立つがすぐにその原因を忘れる。
15. アイスクリームや冷たい飲料に目がない。
16. 室温が寒いと感じるより暑いと感じることの方が多い。
17. 辛くてスパイシーな食事は苦手。
18. 協議などで相違点が生じた場合、もう少し寛容であるべきだ。
19. 物事への挑戦が好きで目標達成の為なら努力を惜しまない。
20. 自分に対しても他人に対しても批判家だ。

③Kapha

1. どちらかといえば行動はゆっくりで暢気派である。
2. 太りやすく痩せにくい体質だ。
3. 穏やかで落ち着いた性格で常に冷静でいられる。
4. 食事を抜いても平気だ。
5. 粘液過多、たん、充血、喘息、気管支炎などの症状が起きやすい。
6. 最低、八時間は寝ないと翌日、調子が悪い。
7. 深い睡眠、石のように眠る。
8. 穏やかな性格でめったに怒らない。
9. 人と比較すれば学習するのに時間がかかるが、一旦覚えた記憶はなかなか忘れない。
10. 太りやすい体質だ。(脂肪が付きやすい)
11. 寒くてじめじめした気候は苦手。
12. 髪の毛は太く、濃く、くせ毛。
13. 色白で、すべすべした柔らかい肌。
14. がっちりした体格だ。
15. 穏やかで愛情深く寛大な性格だ。
16. 食後、消化が遅く胃がもたれる傾向がある。
17. スタミナがあり持久力に要するエネルギーを維持できる。
18. のんびりと整然とした歩き方をする。
19. 寝坊しがちで、朝に弱く、調子がでるまで時間がかかる。
20. 食事に手間をかけ、ゆっくりと行動する几帳面な性格。

裏千家トント教室
新宗楓 教室

8 Dallington Drive
Willowdale, Ontario
M2A 2G3

(416) 493 - 6776

オーラ

*日本からの購読お申し込みは第一勧業銀行
麹町支店、普通預金『オーラ』の口座へ
年間購読料、三千円を振り込み、同時に
お申し込み用紙を下記へご郵送願います。

送り先= O'RORA
73 McCaul St., Suite 729
Toronto, Ontario M5T 2X2 CANADA

古代インドの長寿学 アユルベダ治療の話

後藤順子



アユルベダは、古代インドで発祥し

移行されます。

【三気質 風と火と水】

「生命」は「風・バタ」という気質となり、「光」は「火・ピタ」という気質で「愛」は「水・カバ」という気質に変換される。

まず別に添付した表から自分自信を診断してみましょう。表にはそれぞれの気質に対応した性格や行動が各二十項目ずつ列記されています。直感的に各項目が自分に当てはまるか否かを判断して一から六の数値を当てはめて下さい。(この場合、一は全然、自分とは関係ない、当てはまらない項目で、六は思い切りびつたりの項目です。)そしてそれぞれの気質ごとに合計することによって自分の気質とその分布状況が判断できます。

ほとんどの方は主気質と副気質を持つているが、まれに、三気質を同等に持つ人がいます。それぞれの気質の特徴は次のようになります。

●バタVata(風)

「バタ」は時として「風」に象徴されるように物を動かすものです。性質は乾燥と軽さと荒れを表します。例えば骨のカルシウムが減少して、骨が軽くなった様な状態をいいます。人生では、五十五才以上をいいます。主な

所在臓器は結腸です。病の傾向として、無気力、衰弱、冷え、震え、不眠症、眩暈等があります。また、神経衰弱や腎臓障害、癌や心臓病などの慢性病を起こしやすいタイプです。バタが過剰になった時は、神経質や心配症や恐れやムードが変わりやすく、バランスを戻すため、「重い」と「湿気」と「熱い」に象徴されるものが必要となります。時代を象徴するような、コンピュータや飛行機などの速い乗り物、テレビやラジオもバタを悪化させる原因になるので避けること。さらに地に足を着けるように時間的に規則正しい生活をし、食事は、沢山滋養のある物を少しづつ二時間から三時間おきに食べなければいけません。

●ピタPitta(火)

「ピタ」は火の気質で消化するものでその性質は熱さと湿気と重さです。人生では、青年期から五十五才くらいまでをいいます。主な所在場所は小腸です。病気の傾向は、空腹感や喉の乾き、胸焼けと同時に糞便や尿が黄色くなります。ピタが過剰になった場合、野望、怒り、嫉妬、失敗することへの恐怖、欲求不満などから批判的になりやすくなります。バランスを取り戻すには、「冷え」と「乾燥」と「軽さ」が必要。辛いものや酸っぱい食物をさけて食事一日三回取り、菜食主義が勧められます。精神を安定させるため、瞑想やヨガ等で闘争的な心を落ち着かせることも肝心です。

●カバKatha(水)

「カバ」は水の気質であり、物を集めて支えるもので、その性質は、「冷え」と「湿気」と「重さ」に象徴されま

す。人生では、誕生時から青年期までをいいます。主な所在地は胃です。病気の傾向として、消化不良、冷え性、肥満、咳、呼吸困難があり、日常生活では常に過剰な睡眠傾向にあります。カバが過剰になった時は、退屈、不注意、強欲、停滞があり、勉強や趣味に興味を失いやすい。バランスを戻すためには、「熱い」と「乾燥」と「軽い」に象徴されるもので修正する必要があります。食べ過ぎで代謝が悪い傾向なので、食事は、一日二回、ファスト・フードや甘い物を避けて野菜や果物を食べることが勧められます。動くのが嫌いな傾向があるので、沢山の酸素を使う運動を複数の人と一緒にすることをお勧めします。

【病気の経過】

アユルベダでは、この三つの気質のバランスが崩れた時に病気になることと説明しています。病は次に説明する六つのステップを経て進行していきます。

① 体積

食事や生活や精神的な障害で全て普通ではない状況によって、体内のある場所に一つの気質が体積し始めた時期。「バタ」が過剰時には結腸にガスが貯まったり、便秘や不眠症や疲れや冷えが起る。「ピタ」が過剰時には小腸で焼けた感覚を起し、恐れや緊張や口の中が苦くなったりする。「カバ」が過剰時には胃の作用低下により、体が重く顔色が青白くなる。そして、あっさりした物が食べたくなる。

② 悪化

バランスを崩して増加した気質は

同じ場所ですらに増え続ける。「バタ」は軽い頭痛、便秘の継続、腹痛。「ピタ」は酸の増加による胸焼け、過剰な喉の乾き、睡眠不足。「カバ」は食欲不振、吐き気、胸と頭の重さ、過剰な睡眠。

③ 氾濫

体積した一つの気質はその場所から溢れだして体のあらゆる場所に流れ出す。そして、血液やリンパ液によって臓器や組織に運ばれる。「バタ」は皮膚の乾燥、関節の痛み、腰痛、頭痛、乾いた咳、継続した便秘。「ピタ」は皮膚の炎症、高熱、吐き気、胸焼けと下痢。「カバ」は咳、喘息、リンパ線の腫れ、低い発熱、吐き気、関節の腫れを起す。

④ 転移

その気質は、転移したその場所(体の弱い部分)で特定の病気を発症する。この弱い部分とは、遺伝、前世での生活、未解決な心の葛藤、体と心の傷、アルコールやたばこ等の耽溺により起きることが多い。

⑤ 表明

その気質は特定の場所で特定症状をはっきり表わす。そしてこの時期初めて病気の診断を付けることが出来る。

⑥ 変化

それぞれの場所で、独自の気質独特の性格を表明する。「バタ」は激しい痛み、冷え、乾燥肌、便秘。「ピタ」は発熱、焼けた感覚、関節が赤く腫れる。下痢。「カバ」は浮腫、痰、充血。

【病気の予防と治療】

まずは、体内で、完全に排泄されなかつた宿便や不要な体積物である

毒を除くための解毒療法。春に実行するのが理想的です。方法は、二週間から三日間(期間は気質や年齢や体調による)野菜ジュースと水だけで絶食します。それが出来ない人は、薬草との併用で生野菜を中心とした食事を一、二週間とりましょう。体力のない人は、まず薬草を使う滋養療法で力を付けることから始めます。その後、食事の六味と薬草でバランスを保ち、同時にヨガなどの運動や瞑想、宝石等を使いバランスを戻す助けにします。食事には、栄養以外にも生命を維持する「氣」が必要なので、調理する人は愛情をこめて作ることに。更に再加熱や電子レンジはこの「氣」を破壊し失わせるので使用を避けること。尚、ファスト・フードにはこの氣が含まれていないので注意。

【六味の作用】

同じ味覚であっても人(つまりそれぞれの異なる気質)によって健康への作用の仕方が異なります。

一、甘み (糖、でんぷん)
各気質とも、組織の成長と保持のため程度は必要であるが、ピタは最もバランスを取るために必要で、カバとバタは摂取量を減らすこと。

【あとがき】

私の気質は、ピタが主でカバが副ですが、酸っぱい物に目がなく、お酢が大好きで、サラダや酢の物を毎日食べる傾向にあり、主人は、同じ気質でも辛いものが大好きで、唐辛子の一杯入った韓国風うどんをよく食べます。皮肉にも好きな食べ物は、気質のバランスを崩す食べ物と類似した傾向にあり、病を更に悪化させる原因になるのではと考えられます。

現代科学で、証明できないことが多くありますが、アユルベダの思想には、今を生きる私達がすでに忘れてしまった大切なものを再確認させてくれる部分があります。最近私は、初めてこれをカナダ人の先生から学んだのですが、無意識ながらも仏教的文化背景のある私には、とても馴染みやすく、東洋思想を自然に持つことができる日本人である自分とても幸せだと思いました。

【症例研究】

★男性四十五才、身長・百七十五センチ、体重・七十キ、職業・弁護士
★気質Ⅱ主ピタ・副カバ
★性格Ⅱ態度 野心的、働き過ぎ、高い理想、失敗を恐れる、短気、空虚感への恐れ、欲求不満。
★食生活Ⅱ仕事が忙しく食事を抜かすことが多い。イタリア料理とメキシコ料理など、辛い物やカロリーの高い食事を好む。一度に沢山食べることも多い。コーヒをよく飲む。
★仕事Ⅱ責任が重く、挑戦的で、ビジネス旅行が多い。
★レジャーⅡ趣味Ⅱスカッシュと外食。酒を飲む機会が多い。
★家族Ⅱ妻と子供二人。家族と過ごす時間は短い。父親は自分が三十八才の時死去。
★健康状態Ⅱ体力はあり大病の経験はないが、最近胸焼けすることが多い。

★診断・ピタ過剰

★治療Ⅱ朝食には、シリアルにミルクでメープルシロップを入れる。コーヒの代わりにハーブ茶を飲む。昼食は辛いメキシコ料理を止めて、パスタやチキンやターキー等の白身の肉に代える。夕食は軽く、サラダやパスタ、米や野菜、果物を取る。寝る前二時間以内に食物を取らない。仕事は量を減らし、子供達と屋外で過ごす時間を増やす。瞑想を含めたヨガをする。他人には寛容にする。

最も必要なのは、バタで、カバとピタは、摂取量を減らすこと。
四、辛み(唐辛子、ファンネル)
最も必要なのは、カバで、ピタとバタは摂取量を減らすこと。
五、苦み(アロエ、ゴールデンシール)
最も必要なのは、ピタでカバとバタは摂取量を減らすこと。
六、収斂性味(タンニン、アルファルファ、ラスベリー)

ここに記したのは、壮大なアユルベダ入門の一部にすぎませんが、あなたの健康を考える上で何かのお役に立てば幸いです。

参考文献 Ayurvedic Healing By Dr. David Frawley, O.M.D ISBN 1-878423-00-2

星晨をたずねて(そのVIII)

「北斗」

の星へ還つたマザー・テレサ

月華麗



ひしゃくの形をした北斗七星は最もよく知られている星晨の一つで、ほぼ一年中その幾何学的な直線美を眺めることが出来ます。特に春には北天高く横たわる姿が壮大です。

「北斗」は中国名で、北天にある斗の意味です。日本では「ひしゃく星」とか「かじ星」と呼ばれ、古くは「四三の星」という名で「梁塵秘抄」や「御伽草子」にも取り上げられています。ギリシャ神話では、女神ヘラの嫉妬で熊に変えられた美しい水精カリストーの伝説で有名な「おおくま座」の尻尾に当たります。アラビアでは「父の棺(四星)を守る三人の娘」とされ、わずかに死の世界の星の伝承の名残が見られるようです。正確には北斗は死の星ではなく、霊界を象徴する星で、古代中国では北斗七星は天と地のあらゆるものの生滅を司る天の中心として厚く崇拜されました。そして信仰の対象となり、その例は枚挙にいとまがない程です。

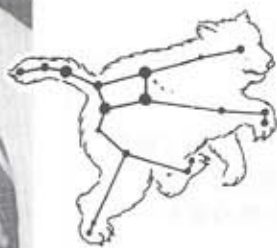
道教の神仙秘法の書「抱朴子」には、北斗に祈って不老長寿の仙薬を得る方法や黄金を作る錬金術などが、こと細かに述べられています。北斗信仰は朝鮮半島や日本にも拡が

りました。古代の墳墓の壁には鏡に写したように裏返しになった北斗七星が描かれているのがしばしば発見されており、これは冥界から見た星座であろうと推察されています。また法隆寺や四天王寺に今も伝えられている「七星剣」は、天魔を退治するため、北斗七星を刻むこと天上の霊力を刀身に封じ込めたものです。下つて平安時代の陰陽師、安倍晴明は北斗七星の精であり、星の配列から世の栄枯盛衰を読み取り、鬼神を駆使して人の寿命や吉凶禍福を操作する力があると信じられていたのも、彼が北斗七星の謎に通じ霊界を往き来していたからだということです。その真偽はさておくとして、星学でも北斗は霊界につながる神秘的星なのです。

この星晨を持つ人は、現世的な価値よりも精神性を大切にします。理想主義者で同情心に富み、学ぶことに意欲的です。時として現実離れした考えや行動で周囲を驚かせますが、損得勘定を度外視した価値観にもかかわらず、幸せな人生を送り寿命も長い人が多いのは、信仰心に篤く神霊からの助けが大きく作用しているからです。同時に北斗は修

行の星ですから、学問、技術、信仰などに高い理想を求めて努力する処に星の真髄があるといえるでしょう。

「私たちがする仕事は、私たちの神への愛の表明に他なりません。人間を愛することが私たちの神への愛の表現なのです。」と言ひ、キリストの愛を理想として一生を捧げたマザー・テレサは北斗の輝く聖女でした。北斗の愛は精神の愛、神への愛ですから、唯物的な合理主義者には



理解されにくく、批判されることにもなります。ワシントン・ポストのコラムを担当しているマデソン・バンディング女史は、マザーの死亡記事に寄せて「マザー・テレサは旧カトリック時代の宗教画だ」と攻撃し、いわく「死を待つ人の家」では死にかけた病人を路上から清潔な場所に移しただけで適切な治療も施さず」「路上生活者の為の根本的な解決に乗り出さず」「墮胎を憎み、避妊や離婚に反対した」等々、その記事はまことにマザー・テレサの愛の本質に

気付かぬ、的を外れたものでした。マザーの活動は慈善事業ではないのです。マザーの眼は人間を通して神を見、その行動は霊に捧げられているのです。

カルカッタの貧民地帯にいてマザー・テレサはこう語りました。「飢えている人は、一切れのパン、一枚の布がなくて泣いているのではなく、自分が愛されていない、愛し愛される人を誰も持っていないと感ずる無辺の孤独感、おそろしいまでの欠乏感に泣いているのだと思います。」そして、不足している貴重な薬や人手を、生きる見込みのある患者にはなく、死ぬと決まっている人に優先的に使うのはなぜかという質問に、痲病で腐った体を持ち、どこに行っても人間扱いされず、望まれずに生まれて来たという悲哀を持つ人達にこそ、手厚い看護が必要で「それらの人々が呪いではなく感謝して死ぬことが出来るのだしたら、薬も人手も、ちつとも惜しいとは思いません」と答えました。マザーやシスター達の心のこもった看護を受け、それまで誰にも心を開こうとしなかった人が「ありがとう」という言葉を残して息を引きとつてゆく姿は、美しく感動的です。マザーの思いは効率や経済性とは全く別の次元にありました。カルカッタでは貧しい人達はまともな治療は受けられません。マザー・テレサは臨終のとき、呼吸困難の苦しみの中で「私に特別な治療はいりません。私が仕えた貧しい人々と同じように死なせてほしい。」と願ひ、星へ還つてゆかれました。北斗を持つ人として、慈愛と清貧に生き、た聖女は、霊の世界でもキリストと共にあるでしょう。

あなたでも参加できる エベレスト・トレッキング

リーダー、ジュディー・ムーアさんに聞く

杉山園子

得点診断で二十七点以上の方は、今回ご紹介するエベレスト・トレッキング・カナダ(Everest Trekking Canada)のプログラムに参加できる可能性があるというわけです。

トロントの郊外オークビル市に住まわれるジュディー・ムーアさんはこのエベレスト・トレッキング・プログラムのオタワ、ウィニペグ、カルガリー、バンクーバーに散ら

ばる八人のリーダーのうちの一人です。通算九回目の出発を目前にトレーニングで準備、ミーティングにお忙しいジュディーさんにお話をうかがいました。

スケジュールが合わず、すれ違いの電話を何度も繰り返した末にやっとつかまえたジュディーさんのお宅のドライブウエーで、まず目に付いたのが4×4の後部バン



パーに貼られたエベレスト・トレッキングのステッカー。住所を調べるよりも確実な表示です。タイミング良くドアが開き、顔を見合わせる同時に二人で「やっと会えましたネ」といったので大笑い。

フリースのベストにスラックスと、すぐにもナップザックを背負ってトレーニングに出られるようなジュディーさんは日本人サイズ(??)というのか Petite なのに、ちょ



ジュディー・ムーアさん

まず、体力テストをしていただきます。

〈ハイキングの経験〉	ポイント
1 過去3年間に2回以上泊まり込みバック・ハイキングをしたことがある。	10
2 日帰りの山岳ハイキングをしたことがある。	8
3 日帰りの平坦な丘陵で荷物を背負ったハイキングをしたことがある。	6
4 一回1~3時間のハイキングをしたことがある。	4
〈フィットネス〉	
1 年間を通して普通のエアロビクス・プログラムをしている。	10
2 時々エアロビクスのプログラムをしている。	7
3 たまに軽い散歩、サイクリング、スキーなどをすることがある。	4
〈健康〉	
1 最近の検査でまったく問題なし。	10
2 腰、膝、足の問題が再発状態である。	8
3 肺、心臓の機能障害を持っている。	3
4 喫煙者、または20%の肥満体である。	3
〈年齢〉	
1 16-35	10
2 36-45	9
3 46-55	8
4 56-65	7
5 65歳以上	6
〈私のスコア〉	点

さあ、何点取れましたか?

〈得点診断〉	
40-35点	申し込みをして、さあ出発!
34-27点	14-21日間のプログラムに行く場合、出発3カ月前からの特訓が必要。
26-21点	8ヶ月間のプログラムを奨めます。長期訓練が必要。
21点以下	まずカナダ国内でのバック・ハイキングを試してみましょう。ヒマラヤを歩くことが適しているかどうか考えてみましょう。

つと驚きましたが、ピリツとした言動から醸し出されるエネルギーがシユな雰囲気は気持ちのいい大きさを感ぜさせます。

二十五年間小学校の先生を務められた彼女がネパールに心を惹かれるきっかけになったのは、一九九〇年にカナダ教師連合(Canadian Teachers Federation)が主催する海外プロジェクトで中部アフリカのカメルーンにボランティアとして行き、五年後の九五年には今度はネパールへ。二ヶ月間先生を指導する先生としてネパールの六ヶ所でボランティア活動をなさいました。学校といってもほとんどが一室の小舎といつてよいような建物で、教材なども不備の上、どこも一万三千、一万五千フィートの高所だったので、大変だったそうです。ボランティアを終えた後、友人と十日間のトレッキングをし、細い道や三時間も登りつめる石段などを風景や出会う人々に魅了されながら歩き回りました。

元々、スキー、ハイキング、カナダと野外活動が好きだったことに

加え、たまたま知り合いのカナダ人のお嬢さんが、エベレスト・トレッキング・カナダのネパール側スタッフと結婚していることもあって、話が進み、現在のリーダーとして、のジューディーさんが登場します。

今年のヒマラヤ・トレッキングのプログラムで、ジューディーさんが受け持っているのは、三月下旬から四月中旬にかけてのエベレストの南部にあたるソル(Solu)地区と十月から十一月にかけて三週間、麓に近いクフンプ(Khumu)とソル地区にまたがる地域の二つのルートです。

カナダから香港経由でネパールの首都、カトマンズに飛び、カトマンズから小型機に乗り換えて、山岳地帯へ飛行します。全行程三週間ですが、高度一万三千〜一万八千フィートの所に行くので、最初の二週間は高度調整、後の二週間がトレッキングという日

程です。一グループ八人が規程で、これにリーダー、現地で道案内のシェルパ四人、クッキング・スタッフ四、五人、荷運びのポーターを加え、総勢二十〜二十二人、それに荷物運びのヤックで編成される大所帯です。

ポーターが運ぶ荷物は背負子の枠幅が決まっているので、持ち物リストに沿って支給されるダブルバッグに入れた物のみ、十五キロとトレッキングでは厳しく制限されます。9本人はナップザックに水と身の回りの物のみ所持。ところで、トレッキング(Trekking)のトレック(Trek)とは、南アフリカの言葉で、「時間のかかる厳しい旅」という意味ですが、ヒマラヤではポーターを使った複数日のハイキングの意ということですが。(National Geographic Vol.161)。

二週間のトレッキング中、宿泊はほとんどテントを使用します

二つのトレッキング地区、KHUMBUとSOLU



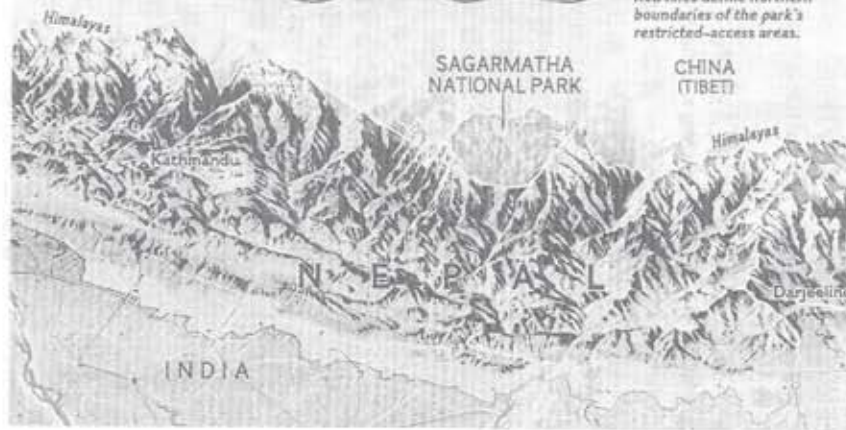
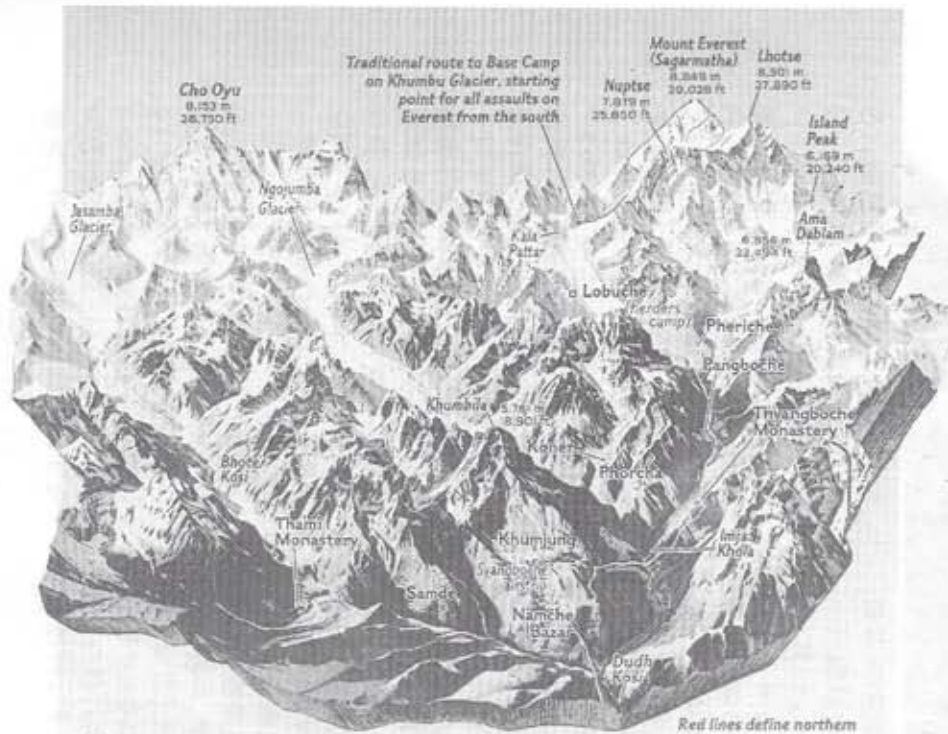
小型機で基地に着陸



ネパールの女性と(未婚の女性はエプロンを掛けている)



トレッキングの途中で、段々畑を望む



レ用テントと、テント村の移動がくり返されるので、キャンプの経験をしてからの参加が望ましいという事です。

トレックキングの途中の村々で「トイレ」が使えますが、大昔の日本トイレの地面に穴を掘り、足場に板を置いた一式なので、文明の世界でしか暮らせない方には不向きな旅です。ちなみに案内書の「環境保護の項」にトレッキング中に使用したトイレットペーパーを燃すためにライターを携帯することがあります。

食の方ではピザ、パスタからD&Bというネパールの常食のお米とレンティルのスープまで幅広く、特に高度の関係でとてもおいしいフレンチフライができるそうです。

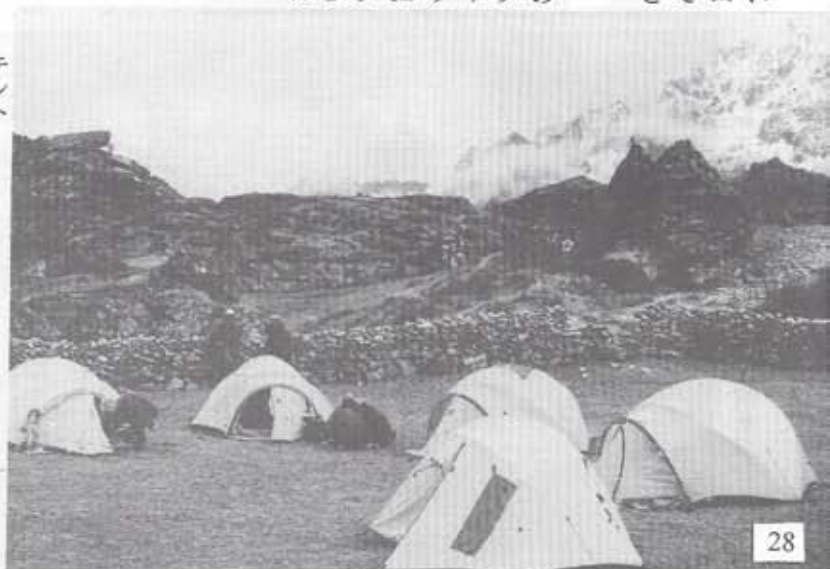
ジュデイのリーダーとしての仕事は、カナダ出発前のミーティングから現地での細々としたことまで、参加メンバーの面倒をみることです。天候状況などでのルート変更など、シェルパとの連携役でもあるわけです。「注意書」に歩きながら景色を見るのは危険です、断崖沿いの道を通ることも

あるので、一歩一歩確かめて歩いて下さい」とあるように気楽な山歩きとは難度が異なりますが、その分、壮大・荘厳な景観と体験を味わうことができるはずですよ。

ナショナル・ジオグラフィックのこの二十一年間に渡るネパール・チベット、特にエレベットのトレッキング・登山の記事に目を通してみると、一九五〇年にネパールがエベレストのあるクフンブ（Khumbu）地区を開放してからトレッカーの増加による環境破壊



ストウーバ



テント



自転車のタクシーに乗って

が伴っていることが明らかになってきています。世界最高のエレベスト山(八八四八メートル)は、公式ネパール名を Sagarmatha とい、周辺は Sagarmatha National Park として現在環境保護に力が注がれています。

一九五三年五月二十九日、シエルバのテンジン・ノールガイ(Tenzing Norgay)を伴い、ニュージーランド人のエドモンド・ヒラリー(Sir Edmund Hillary)が登頂に成功したのは周知のことですが、彼が自分の登頂成功と共にエレベスト登山に拍車がかかり、遠征隊のための燃料に初期は高度地区のねず(杜松)が、三十年後には杜松はまったく姿を消し、下域の Thyangra Boche 周辺では木々が倒され、もつ下域の Namch と Bazar 以南では木が見られないという、美しい山岳が丸裸にされて

いくのを目にして、ニュージーランド政府の援助の下に環境保護に力を入れ、後継者のシエルバを育て、現在に至っていることはあまり知られていません。

一九五〇年には登頂のため、カトマンズから百七十五マイルも歩いた登山家達でしたが、一九七一年には四千人、滑走路が一本できたことにより、一九八一年には二万人に増えました。そして一九八八年にはネパールへの観光客が二十五万人に達し、ヒマラヤ地区にも五万人が訪れ、エレベストのある Sagarmatha National Park を訪れる人々は年間約一万人、シエルバの数の約二倍になっていきます。二一世紀には、…どうなることでしょうか。

当然、シエルバの生活も大きく変わり、ネパール人の平均収入が百七十五ドルなのに、彼等は一千二百ドルと高額所得者になり、トレッキング会社やホテルを営営するようになってきているようです。中でもエレベスト登頂に加わるシエルバは月一千六百から二千ドルをとるエリート族。

エレベストの高峰を背にゴミの散らかる写真の中にインスタントラーメンの袋の日本語を見るのはいやなもの。Namche Bazar から一千フィート高い所にあるナシヨナル・パークの入口近くに日本人の経営するホテルと滑走路ができる予定である (National Geographic, Vol.174, Nos.) などを読むと、環境破壊への拍車ばかりでなく、住民への利益ということも考慮に入れたとしても、日本人と

しての良心がうずく思いがします。

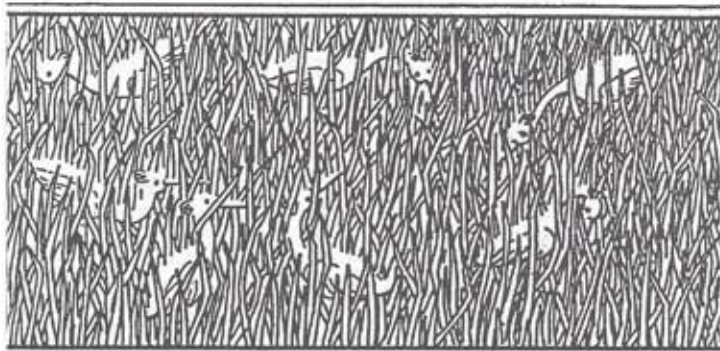
環境保護に加え、病院、橋、水用パイプラインの建設と教育の大切さを説き、二十五校もの学校建設をしてきたヒラリー卿は、一九九一年七十九歳の時に一校目建設の三十年記念に訪れ、「観光客の増加により、ネパール人が日銭稼ぎになるのではなく、経済的に可能性を見きわめられるようになり、観光に押しつぶされないためには学校教育を受けることが最も重要である」と語っています。

教育、住民、自然保護といろんな問題を抱えたネパールですが、山々の美しさは日本人も亡くなったエレベスト登山の事故を書いた Jon Krakauer の「IN THE THIN AIR」やオントリオ・サイエ

ンス・センターで上映されている「MTEVEREST」、またここで紹介したエレベスト・トレッキングなどを通して、理由は何であれ興味が増していることは確かです。簡単に誰でも行けるようになってきたエレベスト、薄っぺらな観光ではなく、自然へのそこで生活する人々への畏敬を払った意味のある体験であって欲しいと思わざるをえませんでした。

ジュディーはネパール女性の作ったクラフトのセールを年二回行っており、売上の幾分かは前述のヒラリー卿が行っているヒラリー基金に寄付されています。

【参考】
★トロント・サイエンス・センター OMNI THEATRE での「THE EVEREST」を上映中。
(Tel 416-696-3127)



ネパール女性の作ったクラフト

★ Everest Trekking "HIMALAYAN PROGRAM 1999

Destination	Day	Max, Elevation	Land Price
Everest Base Camp	14	18,300ff	\$2,100US
Solu/Everest*	14	13,000	2,100
Bhutan	14	14,800	3,500
CopraRidge/Annapluna	14	15,000	2,000
Solu/Tiger Tops	12	13,000	2,600
Everest/Gokyo*	14	17,000	2,100
Gorhha/Chitwan	11	7,000	2,300

*Judy Moore がリーダーのプログラム
Everest Torkking Canada :Tel (604) 731-7650
Fax (604) 731-7635
gkonantz@everesttrekking.com
www.everesttrekking.com



日本国のレート 格下げについて

大江一明

昨年十一月、日本の格付けがムーティスにより、V.V.に格下げされたことについて少し触れてみたい。(ちなみにS & PはV.V.V.に据え置いた)。

この発表を耳にした政治家、官僚の多くは一樣に不快感を表し、宮沢蔵相は「日本の国債は世界で一番信用がある」とぶぜんとした表情で答えた、という。確かに世界最大の債権国の格付けを世界最大の借金国である米国の一民間会社が借金を返済できるか否かの信用度を引き下げることが心情的にも反発したい気持ちを感じるのは当然だろう。事実、多くの一般の日本人は同じように「何故」と疑問を感じたのである。しかしながら国民から国を預かり、政治、経済、外交を委任されている政治家がただ心情的に不快感を表すだけで、それでよいのだろうか。事実政治家、官僚の

中で具体的に数値などを引用して反論した人はほとんどいなかったのである。ちなみにエコノミスト、学者の間では次のように反論している。

一、債務から資産を引いたネットの債務残高では日本が一番低い。

二、個人資産は一千二百兆円あり、債務は全て国内でまかなえる。

三、外貨準備高は二千二百億ドルを越え、世界一である。

なるほど、確かに日本はある程度、借金を増やしても大丈夫そうである。しかしながら、何故政治家は即座に数値を規準にして世界に反論しないのだろうか？

金融ビッグバンとは、一方では世界中から幾千ものテクノロジや情報が交錯し、時にはぶつかり合い、その結果金融戦争を起こすということでもあるのである。それに打ち勝つためには、相手の短所をつくばかりでなく、相手の長所も研究し、そして自分の長所、短所を認識することが大事なのである。

ビッグバンとは国内の金融改革のみを指して言うのではなく、世界に向けて市場を開放し、またはそのレシプロとして世界の市場に乗り込み、自由かつ透明な情報ソースの中で、最終的には消費者の利益になるような卓越した知識競争をすることなのである。だからこそ米国の中央銀行である連

邦準備委員会総裁や財務長官は実務経験、豊富な理論と実戦では右に出るものがないと自他共に認める人物が従事しているのである。振り返って、日本を見るとどうだろうか…。(現蔵相はそれでも少しはましな方かもしれない。その前の二人は本当に何も知らなかった！)国際化やビッグバンに一番遅れている分野だからこそ、最も大胆な発想が求められているのは言うまでもない。少なくとも対等に金融や経済理論をぶつけ合って貰わないと、戦う前に白旗を掲げているようで何とも歯がゆいのである。

現在の日本や日本人が何となく元氣や自信を失っているのも、世界を相手に戦おうとする前に、政治分野での不手際から同じ土俵にさえも乗れないまま退散を余儀なくされることが多いからではないだろうか？この格下げ発表の時に、その内容以上にその後の政府の反応に、より以上の失望と歯がゆさを感じた人は多いはずである。

ところで、この格下げの発表は、日本の二十四兆円にも及ぶ景気対策が公表された直後であったことも注目される。つまりこの内容を検討した上で、諸々の日本の持つ前述したようなメリットも加味したその上で、最終的に格下げの決断に踏み切ったと想像することも出来よう。格下げに対する理由説明には、次のようなことが標記されている。「型にはまった救

済政策に定義される日本経済における深い構造的問題」「政策当局者の経済運営に対する意志統一の不一致」「財政に大幅な劣化」「他国と比較して本質的な弱さを持つ金融システム」。

いったいこれらの指摘に正面切って反論できる政治家はいらるだろうか？はやまさに現在の日本の構造的弱点を適格に捉え、判断していると言えるのではないだろうか！？今までも同じ間違いを繰り返してきているのに、また繰り返すのかと裁断した結果なのである。

ここで求められているのは、発想の転換である。どうせ二十四兆円を使うならすべて減税、特に所得税、住民税の恒久減税と税率体系の簡素化を実施していたら、もしかしたら格下げもなかったのではないか、と思うのは考えすぎだろうか？減税分はもしかしたら政府の心配するように当面貯蓄に回るかも知れないが、国内外の目は間違いなく日本は変わった、と思うはずで、もともと日本の潜在性を高く評価していた人達は株式市場や直接設備投資のために資金を振り向けてくるはずである。恒久減税や株価の上昇、旺盛な資金調達により、国はジワジワと活性を取り戻し、世の中が何となく明るくなったと感じた人達が将来に希望を持つようになった時、消費者は財布のヒモをもっとゆるめるのであろう。結果を恐れずに実行することで、必然的に結果はついてくるのである。

デビット・カード

デビット・カード

「J-Debit」というサービスが一月四日から開始された。いわゆる現金の代わりに「デビット・カード」を用いる決済方式ということであるが、従来のクレジットカード・カードとの違いは何か、使い方やメリット等が十分提示されておらず、依然として消費者には受け入れられていないと言えない。

デビット・カードとは、金融機関のATMカードをショッピングに使うときの名称であって、カード自体の名称というよりも、サービス全体を総称する言葉である。米国などでは、八十年代から一般に既に浸透し、スーパーマーケット等での支払いで積極的に活用されているこの種のサービスも、日本ではまだ、郵便貯金、富士銀行、第一勧業銀行、三和銀行、大垣共立銀行、東和銀行、東京相和銀行、城南信用金庫の八機関のみの限定サービスに過ぎず、新しいコンセプトに郵便貯金が対応していることこそむしろ注目に値する。

これも金融自由化が生み出した新商品ということになるか。もちろん、利用者のメリットは、年会費あるいは手数料が一切ないことがあげられる。また、休日にATMを用いると日本では手数料が取られるため、デビット・カードの場合には手数料が休日でも

高中公男



無料であることもメリットとされている。しかし、これも銀行天下の日本独特のメリットといえないではない。というのは、金融サービスの自由化が遅れているため、金融機関相互の競争があまり機能しておらず、各銀行のサービスに大きな違いはないし、手数料についても、金融機関全体で一律の料金体系が維持されている部分が少なくない。したがって、金融機関は、消費者にとつて、選択の余地があるサービス部門とは認識されていないのである。また、欧米では重視されている「リーティル・バンキング」も、日本ではあまり重視されておらず、依然として銀行側の対応は法人優遇のままである。したがって、金融サービス、特に一般利用者にとつては、利用時間が依然として限定されており、二十四時間ATMを利用することができる金融機関はほとんどない。営業時間が延長されたことが話題となり、PRとなるこ自体、遅れているといわざるを得ない。

戦後復興、高度経済成長などの時期には、日本の金融機関の法人優遇的な対応は、決して批判の対象にはならなかったであろうし、むしろ、そうした役割を期待されていたとも言えないではない。しかし、金融サービスが自由化の方向を示している今も、銀行の

姿勢に大きな変化が見られていないことは、日本の金融業界の将来を象徴しているような気もする。

また、デビット・カードについて言えば、その普及の遅れは、共通インフラの未整備が原因である。デビット・カードを用いるには、決済情報管理センターのような共通インフラの整備が不可欠である。しかし、日本ではまだ、こうした共通インフラが完全に整備されていない。つまり、インフラの側面から、日本の金融サービスの自由化にはボトルネックがあることになる。

もちろん、金融サービスと一口にいっても、クレジットカードのように、完全に輸入コンセプトから出発したサービスは、欧米並みの水準のサービスが提供されるようになっており、利用者の利便性はかなり確保されている。しかも、共通インフラとしての経済情報管理センターが整備されているし、クレジットカード相互のサービスにも違いが見られ、消費者は一定の選択余地を持つている。これが欧米からのコンセプト輸入サービスであるからだとする、日本の金融サービスの問題は、「本格的」であるがゆえの問題であるということになるのであろうか。

サービスとは、ユーザーあつてのものであり、消費者あつてのものである。「お客様は神様です」は、芸能界だけの文句ではなく、ビジネス全般に通じるコンセプトではなからうか。日本の景気回復は、個人消費の回復如何であるといわれる。つまり、消費者次第なのである。景気回復の原点は、ビジネスの原点に通じるものがあるように思えてならない。

(拓殖大学アジア情報センター所長)

にもかかわらず、昨年末に発表された九九年度予算案も、またもや相変わらず変わりばえのしないケインズ型の従来型バラマキ予算となってしまったのは、全く格下げに対する研究も反論もなされていない結果であり、本当に情けない限りである。乱暴に言えば、穴を掘って埋めれば景気になるというケインズ理論は六十年も前の話である。減税額は九兆円を超えたが、やはりというか、所得税、住民税の恒久的減税は見送られた。(政府は恒久的減税と称してまやかしている。より質が悪い。)これでは貯蓄に回るだけである。公共事業は金額だけ10%増え、省庁別、事業別配分はほとんど温存されてしまった。もちろん行政改革抜きでは、資金の配分はどう転がってもまた同じ省庁の懐に回り込むだけである。

日本は何をなすべきか、これ程はつきりしているのに何も行動を起こさないのは、「認識ある過失」ではなく、もはや「未必の故意」と言えよう。日本の格下げは、このような政治政策への失望に対する警告で、決して日本国民または日本企業に対する評価ではない、と一言述べていくれたならば、逆に多くの人々が何故の疑問ではなく、大いに納得したのではないだろうか。

(Nobhit Burns 東京駐在員事務所 所首席駐在員)

夏の雲冬椰子 タベの たたおまいが染めた 真冬の比国滞在

～フィリピン、アパート探しの記～

香西宏昭



前々回、前回と本誌に寄せた私の原稿には「夏雲冬椰子」という共通カテゴリーがついています。事前の話し合いで私が「夏はカナダ、冬はフィリピン」といったものだから、編集部が気を利かしてくれたのだと思います。ところが前二回共紙面がカナダだけで終わってしまったので、今回はフィリピンについて触れておきます。

私がフィリピンを訪れたのはカナダより少し早く、セブ島にできた日本人経営のゴルフ場に誘われたのが最初でした。ほんの二、三回プレーを楽しんだ後、「カナダ」の時に書いたように一、二週間の観光旅行ではつまらないし、経済的にも続けられない、二、三ヶ月の滞在ができないものか、と考えました。が、東京の旅行業者

に「三流並みの安さで自炊ができるホテル」などという資料があるはずもありません。二流ホテル二泊分の予約をとつてもらい、首都であるマニラに着いたのは一九九六年の暮れのことでした。（私が「一流ホテル」という場合、泊まるだけで一泊一万五千元、カナダ・ドル九十円で計算して約百六十七ドル以上、「二流」が一万円、同約百十一ドル、「三流」が七千円、同約七十八ドル以下、という程度に考えています。）

東京で買った案内書によると、マニラの観光省に行けば観光案内所があるということだったので、たまたま手に入った航空券がクリスマス・イブ、つまり当日と翌日、二十五日は全官公庁が休日という最悪の日程に当たっており、二日間の宿泊で許されたホテル探しの期間は休み明けの二十六日のチエック・アウト時刻まで（同日午前中）しかないことに土壇場で気がついたので、弱ったな、と思いました。が、考えて解決のつく問題ではありません。第一夜が明けた二十五日、私はそれまで続けていた午前中一時間のウォーキング（健康のために早めに歩くだけの運動法）を大幅に延長して約七時間、市街地を歩いてみました。片側四車線もある国道沿いに三十度を越す炎天下、砂塵と自動車の排ガスにまみれて歩いたためか（生水は飲まなかったのですが、飲料水の氷に当たったのかも知れませんが）、数日後に激しい下痢に見舞われ、二日間の絶食療法に追い込まれてしまいました。

寒い国から暑い国へ来たばかりな

のに、半ばやけ気味に体を酷使したことに對する神様の罰だったのかも知れません。しかし、神様は罰だけでなく「お恵み」も与えてくれました。この強行軍の途中、私はめざす三流ホテルを見つけることができたからです。月単位で借りると、三割引の一泊五千六百元（約六十二ドル）と当方の射程距離内に入ってくるのです。

翌日午前、ホテルを早めに出て日本の旅行案内書にあるフィリピン観光省に行き、ホテル探しをしようとしてみてびっくりしました。廊下に机を出して座っていた担当者は手書きのホテル・リストを見ながら、なんといま私が出ようとしている二流ホテルの名前を挙げるではありませんか。「もつと安いところはありますか？」「いくらぐらいがいいのですか？」「この簡単なやりとりで私はすっかり「戦意」を喪失してしまいました。「また来ます」といい残して観光省を飛び出した私の脳裏に、昨日のホテルがあったことはいまでもありません。

私が見つけたホテルは喧騒の国道から二百メートルほど入ったところでしたが、夕方、外に出ますと日中の三十度前後の熱気がウソのように、涼風が心地よい静かなたたずまい街があったのです。気温は二十二〜三度でしょうか。私はふと、子供のころ住んでいた東京都世田谷区玉川等々力町の夕方を思い出していました。浴衣がけで縁台に座り、好きな人は将棋でも楽しもうか、という憩いのひとときでした。そう、私たち、日本の都会人が記憶のあなたに追いやり忘

れてしまった光景なのです。私はこの瞬間、「あ、来冬もまたフィリピンに来よう」と心に決めました。

このホテルに一ヶ月、滞在したあと、当地で知り合った友人の世話でマニラ首都圏ケソン市にある自炊可能なアパートメント・ホテルに移り、さらに格安なホテル暮らしを続けることができました。フィリピンでの越冬生活も三回を数え、「夏はカナダ、冬はフィリピン」というパターンがほぼ完成しました。「優雅だなあ」という友人もいますが、決して贅沢な観光旅行ではなく、貧乏生活の輸出版。海外の物価が安いことよって可能になった、ささやかな楽しみなのです。

カナダとフィリピン―地理的条件、気候、住んでいる人々、いずれをとつても対極にある国ではありませんが、共通点もあります。それは両国とも英語圏に属し、人種差別感が希薄で外国人に対して開放的、友好的なこと。この点こそ、私の両国滞在を長引かせている原因なのですが、私はこの両国で過ごすことで英語力を高めることができた。昨には他の外国語も同様な方法で訪ねてみたい、という野望を持っています。

カナダ、フィリピン両国ともすでに三度目の滞を経験しましたが、語学力の向上は遅々として進まず、すでに六十歳代半ばに達した現在、海外への足をさらに伸ばすことができるかどうか―それは神のみぞ知ることでしょう。（無職、横浜市在住）

新教室

初釜にて

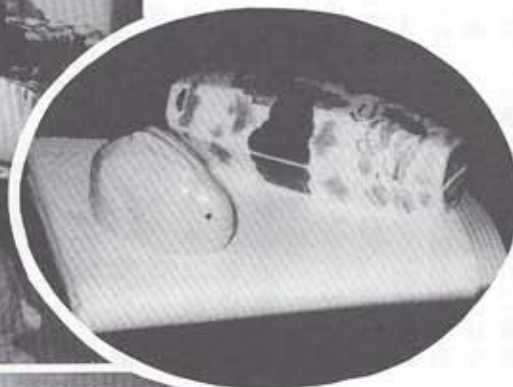
大雪の洗礼を受けて明けた新年に続き、今年は裏千家新社中の初釜に参席させて頂き、久しぶりにピリツと身の引き締まる心の洗礼を受けた思いでした。

オーロラ第十号に新先生ご自身が「お茶と私」で初釜について書かれておられるのですが、初釜はお茶人にとって、新年事始めの行事として大きな位置を占めているものです。お茶席、水屋の準備その他種々用意万端され、お客様を迎えられる心地よく張りつめた空気扉を開けた途端に伝わってきます。お茶席にはお香の香が流れ、湯のたぎる音が静寂さを一層際

立たせ、身動きするのも謹まれる思いがします。お点前が終わって無事立ち上げられるかしら・・・なんて心配している自分に「心頭を滅却すれば火も亦涼し」・・・と言いつけ、お点前を拜見させて頂きました。

主菓子の花びら餅は平安時代の正月の宮中儀式であるお歯固

香合の兎



めー餅をかむことで、歯は歳に通じ長寿を意味するーから来た花びら状の餅で味噌あんここぼろと包んだお社中の津島直恵さん(オーロラ第六号で和菓子作りを紹介)の手作りになるものです。ふつくと点てられたあざやかな萌黄色のお茶を頂き、静寂の中で無駄のないお点前さんの動作や床飾りを見ているうちに、日本古来の伝統の持つ意味や良さを生活の中で子供達に伝えていかなければ、と改めて思いました。

新しいものを良しとする風潮は明治維新に見るザンギリ頭のよ

うに日本人の生活、心までも見苦しいザンギリにしてしまったことは否めません。新しい合理的という本来の意味は、古いものの否定ではないはずなのですが、時として簡単、手抜きになってしまふことが自分も含めてあるのではないのでしょうか。

和風作り、生け花、茶道などカナダで生活する日本人でも伝統を伝え続ける努力を惜しまずにつけておられる方が沢山いらつしやるはず。季節や日本の行事を衣・食・住の中に取り入れた環境で子供が育つかどうかは特に母親の心配りにかかっているのだ、と反省した一日でした。

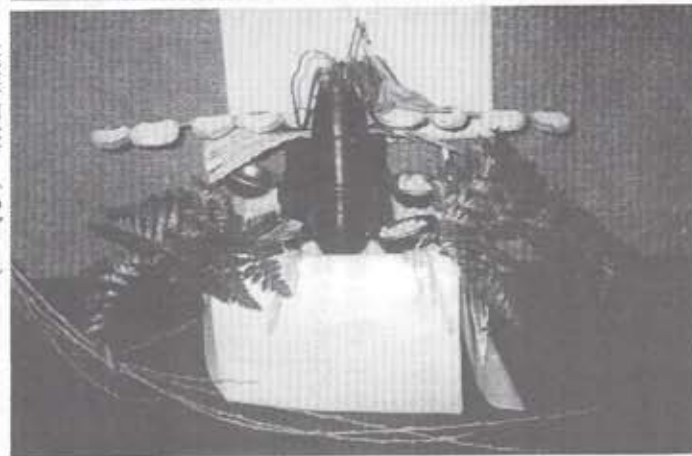
(杉山園子)



床の軸「真光五空中」と床荘り(かざり)を説明される新先生



お茶道具



蓬莱山荘り(かざり)



高校生活の周辺

世の中、腹の立つこと矛盾したところだらけ、ご希望により毎回テーマを決めてひとこともの言いをつけるページを設けました。文句の云いつ放しではなく、出来たら建設的な方向にもっていきたいものです。

◎日本をダメにしている人達

森貞一弘

「日本は今、とても不景気だけど底力があるから、その内、又よくなるヨ」と最近カナダに來た知人が言っていた。「ヘエ、ついこの前まで、国民そろってお祭り騒ぎ、誰もが楽しんで金儲けしようとしていた様子だったのに、全然長続しなかったね。」とお金に縁がなく、かつ外国に脱出してはいる僕には、どうでもいい事だと感じていた。

しかし、報道番組のビデオを見て判ったのだが、意外と深刻な問題のようだ。一方では「お寿司、ステーキ、ラーメン」・・・去年全国の小学生を対象に「好きな食べ物」というアンケートの結果らしい。番組の司会者は「飽食の時代を反映した結果です」と軽く流していたが、どうも許せない。贅沢極まりない！僕の時代だったら、きっと「カレー・ライス、卵焼き、ウインナーか竹輪」ってところだろう…。

まだ戦争の傷跡が完全に治癒しきっていない頃に生まれた僕の世代

は、必要以上に競争意識の中で育てられた。両親は「勉強しなはれや、あそこの子に負けたらあかん。あんたのためや。」とよく言っていた。「まあ、文部省の目的は文句も言わずに機械の歯車のような賢い労働者の育成だったのだからか？」でも結局は、どんぐりの背比べ。ほんの少しの差で優位な立場に着ける現実、高度経済成長社会の悲しくて醜い構造だったようだ。

時代は変わり（少なくとも表面的には）豊かな社会が訪れた。最悪なのは、先ほどの、ほんの少しの差で鼻が高くなったビノキオ人種が親になつて子供にも同じように競争させて満足している事だろう。それに輪をかけるのが金銭的な余裕だろう。ありとあらゆる手段を使ってでも子供を勝たせたいから、財力を武器として可能な限り、手段、方法、道具など必要以上に買い与えている、つま

り過保護、甘やかせ過ぎの現状は嘆かわしい。（残念ながら子供は当然のように思い、大人を利用し、感謝することさえ忘れてる）

先日、妻の旧友から相談の電話があった。「高校一年生の息子が学校に行きたくないと言ってるので、何とかカナダで面倒見てくれないか？」という内容だった。よくよく考えると冗談きつい。とりあえずトロント・タウンページ雑誌を送るからよく考えてから（つまり時間稼ぎの目的で）再度連絡するように伝えたが既に結論は出ていた。親の手にも負えず、日本の学校の先生も諦めた、かと言って本人さえもはっきりと何をしたいのかも解らない。まさに「お先、真つ暗」最悪である。妻は友人を思つて、登校拒否の生徒を専門に担当しているカウンスラーにも相談に行ったが、「日本での家庭や学校での問題は外国に行っても解決できない」ということで丁重に断つたようだ。

個人あたりの貯金総額っていう点で日本は豊かになつたと言っているのだろうか？物資的には何でも手に入るようになったから豊かになつたと言つてののだろうか？日本に住んでいると気付かないのだから、十分過ぎる程生活を浪費して、本当はもう全てに対してうんざりしているのに、それさえ感覚が麻痺していて感じないのだろう。

日本は、不思議な国で、国旗、国歌とかに対して過敏な議論が飛び交い、国家なんて言葉はタブーとさえ感じさせる。それなら逆に各個人や、社会的に最も小さな単位である「家庭」に注目すべきだろう。

さあ、時代は変わったんだ。実質的な家族の崩壊や断絶、人と人との間にある不信感や競争意識などの見えない壁（断絶）を取り壊すことから、やり直そう。汗まみれになって一生懸命に生きよう。苦しくても励ましあって走りつづけければ、きっとトンネルの終わりが見えてくるはずだ。

◎高校生を預かってびっくり

匿名希望（トロント在住）

カナダでの高校生活を続けるために、日本に帰国の家族と離れて生活することになった知人の子供のA君を預かった。社会人になつた息子が自分の部屋が日当たりがいいからと気持ちよく明け渡ししてくれたので、B君は衣類と自分が使った用具だけ持ってやって来た。身体があまり丈夫でない上、朝早く出かける息子のため、あらかじめお風呂や電話を使う時間や夜の騒音など生活のきまりについて、A君と約束して始めた生活だった。A君の家族と行き来をしている限りでは、丁寧な子だと思つたし、上に立つ方の家庭で育つた子だからきちんとしているだろうと思つたのが甘かった。以下、びっくりしたことを挙げますと。

食生活では何でもおいしいおいしいと食べてくれるので安心したけれど、朝食に「僕、パンは嫌いです。ご飯にして下さい。」と断固と云われたのには、びっくり（その1）。できないことではないので、ご飯作りを始めたものの、朝はな



なかなか起きて来ず、学校までラッシュをくぐって車で送っていかなければならぬ距離なのに、急ぐふうもなくのんびりゆつくり食事を食べるので、気をもむ毎日が始まった。

七年以上カナダで生活をしてきた子なのに英語のできないのにもびつくり(その2)。日本の小説は読むのに、英語の会話、読解ともぎごちない。そのためカナダ人の友達は一人もなく、日本語学校の友達とだけしか付き合わず、夜中に電話(市外通話)をかけていたのを知らずにいて、請求書が来てびつくり(その3)。日本にも無断で電話をかけていたので、電話代を請求することにした。

エリート意識が強く、現地校の表彰式で沢山賞をもらった子を褒めたら、自分のように「算数だけ一番ならそれでよい」と一蹴する有様にびつくり(その4)。母親との電話の会話が命令口調なのと通じるころがあります。余りのことに注意したら母親からお礼を言われたが、父親のエリート意識や女性の扱い、ありがとうという言葉のない生活が目に見えるようでした。息子達は送り迎えや洗濯物を片付ける時には、ありがとうといつも云ってくれたので、あまりの違いに驚きました。

時間や生活にルーズで、送り迎えでは予定を言ってくれない上に、待たされたり、遅れたり、それで怒られるのですから、びつくり(その5)。時折り主人が迎えに行っても「ありがとう」の一言が

聞かれないのです。

息子のTVゲームがあつたので、地下のリクリエーション・ルームにある旧いTVにセットして使えるように置いてあげたのですが、私の留守中に息子に自分の持ってきたゲームを居間の新しいTVに取り付けさせ、ゲームに入り浸り。食事でも来ない。ゲームは地下のTVでしてね、と言つてあつたけれど、新しいTVの方がいい：と私達のTVを乗っ取られて、びつくり(その6)。

洗濯をしておいてあげた下着を持つて来て、黒い点々がついているからもう一度洗い直せというご注文。洗つても落ちないので原因を探したら学校のロッカールームに濡れたまま入れて置いたためのサビとわかる。自分の部屋の床は物が散らばり放題、掃除機もかけられない状態。息子から借りた物は借りっぱなしかまたは放り出してあるかのどちらか。一体どんなしつけを受けてきたのか、びつくり(その7)。

寒い、寒いと電気ストーブを付けっぱなしなのに、冬の夜も半袖、半ズボン姿。トレーナーをはいたり、暖かい格好をしたら、と言うと、「家ではこうしてた」ときつい返事にびつくり(その8)。

上の息子が病気で入院したため車の送り迎えが大変なので、バスでの学校通学を勧めたら嫌な顔をされてしまう。子供といえど高校生、常識というものが育っていないのでしょうか。びつくり(その9)。

書く種が尽きない日々に、息子

の病気が重なり、遂に限界を感じて引き取ってもらいましたが、この子を始め、親戚の子などを含め、日本の子供の礼儀知らず、けじめのない子育てに本当にびつくりしました。

◎ 何度も受けたカルチャー・ショック

植田絵美

高校入学のためトロントから日本へ単身帰国して、一年が過ぎようとしています。長いようで短かったこの一年はよい経験、辛かった思い出など様々ですが、私がつとも成長した一年だったと言えます。

初めて家族と離れ、祖父母と生活することは思ったよりも厳しく、安易なことではありませんでした。何度も親元に戻りたいと思いましたが、小さい頃には見えなかった人間関係の引き起こす様々な問題が嫌ななしに見えてきます。



絵美さん(右)と妹さん

小学校五年生までの思い出しかなかった私にとって、四年ぶりに「日本の学生」に戻ることは想像とはかけ離れたものでした。朝六時を回ると始まる通学。五十人近いクラスメート、ほとんどついていけない授業、一年に五回もある試験など本当にどの点をとつても今までのカナダの生活とは異なり、投げ出したくなるようなことばかりでした。受験勉強に必死で一点の差で、友情がどこかにいつてしまうようなことが平気で行われたり、海外帰国生活というレツテルがついて回るので、新しい友達とのトラブルも無かつたとは言えませんが、カナダの友達とはどことなく違う日本の友達。私は日本人でありながら、何度もカルチャー・ショックを受けました。でも今は自分の居場所を見つけることが出来、今までとは違った日本での友達関係を楽しんでいきます。

この一年で私は嫌なことを貰くことの大切さを学ぶことが出来ました。嬉しかったり、辛かったり…：皆さんの経験から学んだことを次の



◎ Things I Hate

Ainslie Butler

This article is about things that I hate, and there is nothing that I hate more than prejudice, especially racism, and sexism, I do not believe in classifying people, setting apart because of petty differences.

Racism is, in my opinion, a fear of someone that isn't just like you. It is a separation of people due to the color of their skin, something that cannot be changed, or in any case I don't think should be changed. Just because a person has different area of the world, doesn't mean that they're better or worse than anyone else is, and everyone should be treated equal.

I've seen too many people get hurt by this immature fear of difference to sympathize with racism, or even begin to understand it.

Sexism is the idea that one gender is better than the other is, and humanity lived this way for a long time, believing men were better than women were. I'm not saying that women can do everything just as good as men, or vice-versa. Scientifically, women have less natural muscle mass on average, therefore, would probably not do as well at some hard labour occupations as men might. This example also applies for men not being able to do some things as well as some women,

for example, men don't generally have the maternal instinct, so they wouldn't do as well at say...running a day care. Now that in itself is a sexist comment I suppose, but it is true in sameways.

I consider myself very open minded, and I can see a certain twisted logic behind most prejudices.

(13 years, Mississauga, Ontario)

◎ Oppression is learned not inherited

Thiffany Barraclough

What I hate most about society today is its inability to accept the many different religious and races in today's world. If we are such a well-educated and intelligent race then why are we so racist and prejudiced against those different from us?

What is the definition of Racism?

On the internet racism is defined as a system of beliefs or attitudes which delegates "colored peoples" to restricted opinions or roles because of their race, and offers easier access to privilege for "whites" who are considered "normal". Racism is not bound to "white" versus "black", but unfortunately usually involves the idea that one's own race is superior and has the right to rule others. Racism has been expressed in many ways since the beginning of biblical times in fear, hatred, violence, discrimination and misinformation. Racism is one of many acts of oppression. Remember: oppression is learned not inherited.

It is true that people can follow whatever religion /beliefs they desire, yet they have to be aware that they are not superior because they are of a certain race or culture and they are not better than people who do have the same beliefs. people must be aware that when they voice their opinions that are racist or prejudicial

機会に活かすことが出来れば、その人は大人になっていけると思いますが。この一年何度も「どうしてわたしだけが!？」と反発する気持ちを持ったこともありましたが、その都度、親一毎晩私の電子メールに答え、励ましてくれたーや、いつも喧嘩してるようで頼りにしていた妹など、沢山の人、人間関係の大切さをあらためて知ることが出来ました。(神戸女学院・高校二年・十六歳)



it is better to keep it to themselves.

I started reading a lot about a religion called "Whicca" and my mother disapproved. I think that she was afraid I would become a Satanist but Witchcraft has nothing to do with Satan. My mother was uninformed of what Witchcraft was. This is a good example of how prejudice can begin. Information and tolerance can end all prejudice.

(15 years, Mississauga, Ontario)

遂に発刊! 「ルーシー・モード・ モンゴメリ・アルバム」 記念パーティーにて

梶原由佳



前列右から二人目が筆者

雑祭りの夜、「ルーシー・モード・モンゴメリ・アルバム」出版記念パーティーに出かけた。前日から雪が、しとしと雨にかわってひんやりした夜だった。

そんな外界の冷たさとはうらはらに、私の心はほかほか気分であった。出版社から送られてきたその本は、予想をはるかに越えたすばらしい出来映え。研究者やモンゴメリ・ファンに加え、実際にモンゴメリを知る人々など数多くの執筆者の文章と、それを彩るおよそ四百枚の写真が入っている。アルバムというだけあって、読むだけでなく眺めるだけでも十分に楽しい。モンゴメリの生い立ち、プリンス・エドワード島やオンタリオ州各地にあるゆかりの場所、交友関係、作品分析、映画になったアン、アン関連行事紹介に加え、お孫さんのことは、それから日本とアンの深い関係についてなど、幅広い内容に驚くばかり。「赤毛のアン」の作者モンゴメリのことなら、これ一冊で何でもわかってしまう優れたもの。まるで百科事典のような、ずっしりと重みのある本に仕上がっている。

そもそも、この本と私の関わりはおよそ三年前に遡る。モンゴメリ研究グループのニューズレターに寄せた原稿が、編集者のケビン・マッケイブの目にとまり、「L・M・モンゴメリ・アルバム」用に書き下ろして欲しいと依頼があったのだ。詩人としてのモンゴメリを

研究していたケビンとは顔見知りでもあり、英文執筆は苦手ながらも、「An Influential Anne in Japan」と題する日本でのアンの人気に関する小文を書き送った。その後もケビンのリサーチを手伝い、関連資料や写真の入手に走り回った。出来上がった本を見ると、大学の先生方やプロのライターも寄稿されていて、自分の文章に恥じ入るとともに、それでもやっぱり努力が報われて嬉しい気分である。

さて、パーティーの夜、モントリオールから駆けつけたベンジャミン君とジェイソン（主人）と共に会場へ向かった。大学生のベンジャミン君は、スーツを着込んでめかしこんでいる。三人ともこの本の制作に関わったことから招待されたのだ。

会場はすでに七十名ほどの人たちでにぎわっていた。ハミルトンのモンゴメリ研究グループの友人たちが、ワイングラス片手に歓談している。彼女たちも原稿執筆者である。私たちはお互いを認めるのと、まるで十代に戻ったがごとくキヤアキヤア言い合いながら、真新しい本に記念のサインをし合った。モンゴメリの親戚やお二人の編者、ケビンとアレキザンドラのサインももらって満足。研究仲間皆さんと記念撮影をして大いに盛り上がったのであった。

気がつくくと、ベンジャミン君が見あたらない。と思ったら、しっかりセドリック・スミス氏にくっついて話をしている。スミス氏はモンゴ

メリの作品を基にしたテレビ番組「アヴォンリーへの道」でアレック・キング役を演じた俳優で、なかなかハンサム。ベンジャミン君は、フィルム研究やモンゴメリ作品に深くのめり込んでいて、ついでながらゲイでもある。この機を逃さず、スミス氏に言い寄っているのかもしれない。

パーティーも半ば、スミス氏がギターの伴奏でモンゴメリ讃歌を歌いだし、会場はにこやかムード。ぐるりと周りを見わたして、こんなに多くの人々がモンゴメリに何らかの形で関わっている不思議さ、そうしてかくも多くの人々を集めてしまう作家モンゴメリの偉大さを感じずにはいられなかった。

帰りはベンジャミン君やジェイソンと別れて、私は伝記作家で九十歳のモリー・ギレン博士とタクシーに乗った。この高齢の婦人との出会いも、やはりモンゴメリが仲立ちになっている。モンゴメリを追求している限り、これからも、もつともつと多くの人と知り合うことになるかも知れない。

というわけで、「ルーシー・モード・モンゴメリ・アルバム」を読まれた方、ぜひ、こゝに報下さいね。

The Lucy Maud Montgomery Album

Compiled by Kevin McCabe, Edited by Alexandra Heithron. Published by Fitzhenry & Whiteside. ISBN 1-55041-386-4 価格四六ドル+税

子供が大人に 最も近い国、カナダ

草間吉夫

◆カナダに滞在

松下政経塾に入るまで私は児童養護施設(以下、養護施設)で働いていた。というのは、私自身養護施設で育ち、将来自分も同じ仕事をしてみたいと思っただけだ。現在日本全国五五七カ所にある養護施設に暮らす子供(二、十八才)の数は約三万人。親の虐待や離婚、行方不明などで家族と一緒にいられない子供が生活している。

もし、日本と似たことがカナダで起こった場合、子供はどこへ行くのか。それは里親かグループホームだ。「出来るだけ家庭に近い形でケアする」がこの国の考え方だからだ。

カナダはなじみのない遠い存在の国だったが、それを私に近づけてくれたのは、日本社会事業大学で子供家庭福祉論を教えている高橋重宏教授だった。二年半前、海外へ行くなら何処がいいでしょうかと教授に相談したことがあった。その時、「それならカナダへ是非行くべきだよ」と強く勧められた。カナダの児童福祉通として知られる人からそう言われると、行ってみたいくなるのは人情だ。

それから間もなく私はこの地を訪れた。一九九七年六月のことだ。一ヶ月間トロントに滞在し

た。一年後、再びこの地に戻り四ヶ月余り過ごした。

◆子供の権利と擁護

私は今、家庭に特殊な事情がある子供と家庭の支援をテーマに国内外で学んでいる。カナダを訪れたのもそれを知りたかったからだ。子供を社会でどう位置づけているか、それはその国の制度や法律を見れば一目瞭然である。

他国に比べれば子供の権利は、大人と同格に整えられ保障されているカナダは、子供を大人と同じ一人の人間として見ている国だ。例えば、カナダで親が子供を虐待した場合どうなるだろうか。親は発見され次第、即刻警察へ連行されるだろう。更に新聞やテレビでその様子を詳しく報道されて社会的制裁も受けることになる。事実、そうした場面に何度か出会った。カナダで虐待がクローズアップされたのは七〇年代後半。当時子供に対する性的虐待が非常に大きな社会問題となった。こうした事情から八四年に児童福祉法が大改正され、その名も「子供家庭サービス法(Care and Family Service Act)」と変えられた。

この法律の特徴の一つは、子供と親(家庭)それぞれの人権を守るために、裁判所が最終的な判断を下ろすシステムを作った点だ。例えば、子供が親などから身体的虐待を受けつつあるか、あるいはその恐れがある場合には関係

者はCAS(Children's Aid Society)に通告しなければならぬ(第六八条)。もし通告を怠れば、千ドル以下の罰金刑か最大二年の懲役刑に課せられると法律で規定した。そしてCASは通告を受けてから五日以内に州裁判所に報告しなければならぬ。そこで子供の処遇や親の親権剥奪(Cross ward)あるいは親権一時停止(Society ward)などについて裁判所の判断を仰ぐことになる。

しかし、子供と親(大人)が法廷で争えば、当然子供に不利になりやすい。そのため州政府は公費で子供に弁護士を付ける制度を設けた。州政府運営の子供弁護士事務所や弁護士会で運営されている子供成年法律扶助事務所などがそうだ。また大人に比べて子供は意志表示や状況説明の能力が劣ることから、彼等のありのままの思いや体験を裁判所以外で代弁する機関も設置された。コミュニティー・ソーシャル・サービス省直属のアドボカシー・オフィスがそれに当たる。子供の立場や権利を社会的に尊重し、いくつかの機関を通じて保障する法律やシステムを持つカナダは、八九年に国連で採択された「子供権利条約」を先駆けしていたといわれている。

◆日本の現状は……?

一方、所変わって日本はどうなのだろうか。親が子供を殺すか、それに近いことをしない限り、親

の逮捕はまずあり得ない。家族法で子供の権利(子権)より親の権利(親権)を強く規定しているからだ。仮に他人が虐待を目撃したとしても、止めに入るものなら「これは私の家の問題であって、他人からとやかく言われる筋合いはない」と逆に言われるのが落ちだ。事と次第では相手から報復される危険性さえある。

警察やソーシャルワーカーといった公的機関ならばどうか。親権を親から持ち出されると、それに対抗する法的権限がないため、介入しにくいのが現状だ。極端に言えばその子が瀕死状態に追い込まれない限り公的機関はその問題に手が出せないのだ。

近年、日本でも虐待が問題になり、九七年度全国の児童相談所に寄せられた虐待相談は五、三三二件。九〇年に比べ五倍に増えている。昨年児童福祉法が五十年ぶりに全面改正され、この問題も重要な審議の一つとして上がったが、家族法や他法との折り合いから手が付けられず、結局見送りとなってしまった。日本の子供虐待への取り組みは極めて立ち遅れている。日本での問題解決のヒントは子供が大人に最も近い国、カナダにある。

(筆者は財団法人松下政経塾第十六期生、一九六六年茨城県生まれ、東北福祉大卒業後、児童養護施設に五年間勤務。将来彼等を支援する団体設立が大きな夢)

「モリー先生との火曜日」
ミッチ・アルボム著

別宮貞徳

(へっく・さだのり) 訳
NHK出版

ひとの言葉でもっとも重要視される「時」があるとしたら、それは死ぬ時であろう。遺言などは、その最たるものだ。

この本は、難病のために死への過程にある老教授が、昔の教え子との会話を通じて、人生最後の「授業」を行うという設定になっている。が、これはフィクションならぬ実話。「モリー先生との火曜日」は、教え子ミッチ・アルボムの卒業論文。そして、卒業式はモリー先生の葬儀の日となった。



モリー先生と筆者

ミッチ・アルボムは三十七歳の働き盛り。スポーツ・コラムニストとして有名選手にインタビューしたり、記事を書いたり多忙な生活を送っていた。ある日、アメリカABCのテレビ・ニュース・ショー「ナイトライン」に映った恩師モリー先生の姿を認める。それは、彼の死までの半年間を追うという内容だった。この放映がきっかけで、ミッチは筋力が侵される難病を患う恩師と十六年ぶりの再会を果たす。

そして、ふたりは毎週火曜日に「人生の意味」について語り合うこととする。後悔、死、家族、老いることへの恐れ、金銭、結婚や文化など人生の中で大切なことを、モリー先生がミッチに語ってゆく。

死を目前にしたモリー先生と若い世代のミッチ。理性はありながらも、精神の器である肉体の衰えから、眼鏡も自分でかけられなくなり、トイレの世話も人頼みになってしまった先生の姿が痛々しい。ところが、それを、赤ん坊になったようでみんなに世話をされるのがうれしいと前向きにとらえるモリー先生。葬儀の際に贈られる言葉を「生きているうちに聞いておこう」と Living funeral を企画して、みんなと泣き笑うモリー先生。「死の途上にある私を見て、生きることを学びなさい」と言うモリー先生に、私は驚くばかりであった。

偉ぶることもなく、何にもこびず淡々と、しかも、堂々と人生の真髄を語るモリー先生。忙しさにかまけて、大事なことを忘れがちな現代の私たち。火曜日の出会いを重ねることに深まる教授と教え子との心の交流。私もこういう先生に巡り会いたかった！でも、どうやら私もこの本を読むことで、モリー先生の教え子のひとりになれる気がする。

この本は、哲学書でも心理学の本でもなく、こうすべきというような How to もでもない、新しい形態のノンフィクションだ。ふたりの対話の章立ての合い間に、モリー先生の生い立ちやミッチの私生活の様子描写され、読者はふたりの生活環境や生きている時代性をかいま見ることが出来る。

また、内容の素晴らしさは、著者の飾り気のない筆致によるところが大きい。とても読みやすく、簡素ながらも奥行きがある英文だ。

死ぬまで教師でありたいと願ったモリー先生。自身で考えた墓石の碑文は、*A Teacher to the Last*。この本を読み返すことにモリー先生は私の中に蘇る。

彼こそ、永遠の先生である。
(梶原由佳)

(原題 *Tuesdays with Morrie*)

written by Mitch Albom

published by Doubleday

ISBN 0-385-488451-8 \$27.95 CDN

OCS
OVERSEA COURIER
SERVICE

海外新聞普及株式会社

日経・朝日・読売新聞国際衛星版を同日配達いたします
新聞・雑誌・書籍の御注文はOCSへ

Toronto

480 Carlingview Dr, Rexdale, Ontario M9W 6M8
Tel:(416) 675-9061, 9063

Vancouver

3600 Viking Way, Unit 250, Richmond, B.C. V6V 6M8
Tel:(604) 270-1139

編集室から



◇ 昨年の秋、私のことをよく知っている人達に、いつまでも元気で長生きして欲しいという願いを込めて学び始めた栄養学のコース。各学科が終わると、最も自分で関心を持った内容を日本語でまとめ、オーロラの原稿に書いた。半年後、沢山の友達から興味を持って頂いた反響があった。そして、今年の春にテレビの日本語放送でも、この内容を取り上げていただけることが決まった。今まで、いろいろ勉強をしてきたが、こんなにすぐに誰かの役に立ったことは初めてだ。最初は高いと思った授業料や本代も、興味を持って呼んで下さった方々の数を考えると、結構安いのではないかという気がしてきた。(順子)

何と大晦日の夕方だった。印刷屋から届いたオーロラを用意した封筒やバッグに入れ、カナダ・ポストのゲートウェイ・ステーションに運び込む。山本さんがボランティアで手伝って下さり、山本さんの車でイースト・エンドのステーションに運び込んだ。その足ですぐデリバリー、スチール・ビクトリアパークのJマートに行く。ここでの楽しみは日比野さんのところで見事なお大根を、パン屋さんでおいしい食パンを買うことだ。

ダウンタウンに戻り、美容室の仕事を終えた由美子ちゃん(山本夫人)と子供達、裕紀ちゃん、藍ちゃんと東京キッチンで合流、年越しそばならぬ年越しトンカツを食べる。このヒレカツは本当におすすめ。その後、ハイパークの旦那にお届けし、帰途、クイーン・スト

リートのサンコーの年越しパーティーに呼ばれていないのに押し掛ける。ロンスバールを走っている時、この辺にAさんのアジトがある、と山本さんがいう。覗いてみようか、などと話したが、サンコーの年越しパーティーがお開きになる前に行かなくては、とパスすることにした。子供達をたき起こして、山本一家とお店にはいる。奥の部屋で水野さん一家にお店の人や知人が集まっている。日塔さんもいる、ロンドン・スクール・オブ・エコノミクスに留学している息子さんも戻って来た。パーティーはほぼお開きでお寿司は終わっていたが、おそばや伊達巻きをよばれる。おそばがフワフワでもの凄くおいしい。このおそば買って帰る、と言ったら「店には置いてないよ、Tグルルに行けばある」と水野さん。水を全然加えないで、山芋だけで打った特注のおそばだそう。九時前お開きになり、水野さんはこれから正月用のデリバリーにでかける、年末のお店の忙しい中で、奥さんが黒豆を冷やかしている。慌しい中にも充実した大晦日、多くの人に支えられて生きていく自分を実感しつつ年を終えた。(K・H)

◇ エベレストの山の写真を見ていると、すつきりした気持ちになります。チャンスがあったら高い目標に向かって登ろうと思いつつ、原稿を書きました。(杉山園子)



HELLO JAPAN
Citytv channel 57
Cable 7
EVERY SUNDAY 8:30~9:00AM.

JAPANESE FOODS & GIFT SHOP
SANKO
730 QUEEN ST. W. TORONTO
TEL (416) 703-4550 / FAX (416) 703-8593

オーロラ

(代表・平塚かずよ)

オーロラ購読申込み用紙

年4回発行 年間購読料14ドル
小切手を添えて郵便でお申込み下さい

カナダ国内 14カナダドル(送料、GST込み)
アメリカ 24カナダドル(エアメール送料共)

ネーム _____

アドレス _____

郵便番号 _____

オーロラ

SHISEIDO

BEAUTY INSTITUTE



資生堂125年の歴史を展示するギャラリー
(ビューティ・インスティテュートの内部)

SHISEIDO BEAUTY INSTITUTE では、毎日、スキンケア・メーキャップなどの各種美容講座を開講しています。

カナダの皆様にも、資生堂化粧品をもっと知っていただきたい、という願いを込めて、講座へのご参加は完全無料、会場での商品の販売も一切ありません。

なお、座席数に限りがありますので、事前にお電話にてご予約下さい。

住所： 1 Dundas Street W., Suite 2405
Toronto, ON M5G 1Z3

電話： 416-408-3700 (英語)

または、SHISEIDO CANADA (本社)

電話： 905-763-1250 (日本人スタッフ常駐) まで、お気軽にどうぞ

ショーフレックスのお客様はすべて

V. I. P.

大・小バス / ミニバン / ストレッチリムジン
セダンなど... すべて日本語のガイドまたは
ドライバーがご案内いたします。



- 空港ご送迎・ナイアガラ観光は快適なリムジンで。
- テクニカルビジット・通訳 その他もアレンジいたします。

Show Flex International Inc.

315 Adelaide St. W., Toronto ON M5V 1P8

Tel:(416)977-6849 Fax:(416)977- 7250

1999 "CANADIAN TRUCK OF THE YEAR"



AUTOMOBILE JOURNALISTS ASSOCIATION OF CANADA

Further proof of
higher intelligence in space.



If you had any doubt about intelligence in space, we have another sighting to report. The Automobile Journalists Association of Canada has named the very spacious all-new Odyssey 1999's "Canadian Truck of the Year". Not surprising when you look at the Odyssey's features. Take for example the rear "magic seat"™ that folds flat into the floor. And the second-row Captain's chairs which can be converted into a bench seat or separated to provide a walk-through to the rear seats. And with the most powerful engine available in a minivan, we're reaching new heights at excellent speeds.

Space. The all-new Odyssey

FOR A BROCHURE, OR THE DEALER NEAREST YOU, CALL 1 888 9-HONDA-9



BUILT WITHOUT COMPROMISE